

[様式5-2]

2009（平成21）年度「大学評価」申請用  
大学基礎データ

京 都 橘 大 学

# 目 次

	頁
<b>I 教育研究組織</b>	
1 全学の設置学部・学科・大学院研究科等（2008年5月1日現在）（表1）	1
2 全学の設置学部・学科・大学院研究科等（2009年4月1日現在）（表2）	2
<b>II 教育研究の内容・方法等</b>	
1 開設授業科目における専兼比率（表3）	3
2 単位互換協定に基づく単位認定の状況（表4）	6
3 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況（表5）	7
4 卒業判定（表6）	8
5 大学院における学位授与状況（表7）	9
6 就職・大学院進学状況（表8）	10
7 国家試験合格率（表9）	12
8 公開講座の開設状況（表10）	13
9 学生の国別国際交流（表11）	14
10 教員・研究者の国際学術研究交流（表12）	15
<b>III 学生の受け入れ</b>	
1 学部・学科の志願者・合格者・入学者の推移（表13）	16
2 学部・学科の学生定員及び在籍学生数（表14）	33
3 学部の入学者の構成（表15）	34

		頁
4	学部・学科の退学者数（表17）	----- 35
5	大学院研究科の学生定員及び在籍学生数（表18）	----- 36
6	法科大学院の学生定員及び在籍学生数（表18-2）	----- 36
7	大学院研究科の志願者・合格者・入学者数の推移（表18-3）	----- 37
8	法科大学院の志願者・合格者・入学者数の推移（表18-4）	----- 42

#### IV 教員組織

1-1	全学の教員組織（表19）	----- 43
1-2	学部の教員組織（表19-2）	----- 44
1-3	大学院研究科の教員組織（専門職大学院を除く）（表19-3）	----- 45
1-4	専門職大学院の教員組織（表19-4）	----- 45
1-5	事務組織（表19-5）	----- 46
2	専任教員個別表（表20）	----- 46
3	専任教員年齢構成（表21）	----- 47
4	専任教員の担当授業時間（表22）	----- 48
5	専任教員の給与（表23）	----- 51

#### V 研究活動と研究環境

1	専任教員の教育・研究業績（表24）	----- 51
2	専任教員の教育・研究業績（芸術分野や体育実技等の分野を担当する教員）（表25）	----- 51
3	専任教員の研究費（表29）	----- 52
4	専任教員の研究旅費（表30）	----- 53

	頁
5 学内共同研究費（表31）	----- 54
6 教員研究費内訳（表32）	----- 55
7 科学研究費の採択状況（表33）	----- 59
8 学外からの研究費（表34）	----- 60
9 教員研究室（表35）	----- 61
<b>VI 施設・設備等</b>	
1 校地、校舎、講義室・演習室等の面積（表36）	----- 62
2 主要施設の概況（表36-2）	----- 63
3 学部・研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模（表37）	----- 64
4 学部・研究科ごとの学生用実験・実習室の面積・規模（表38）	----- 65
5 学部・研究科ごとの規模別講義室・演習室使用状況一覧表（表40）	----- 66
<b>VII 図書館および図書・電子媒体</b>	
1 図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況（表41）	----- 68
2 図書館利用状況（表42）	----- 69
3 学生閲覧室等（表43）	----- 70
<b>VIII 学生生活</b>	
1 奨学金給付・貸与状況（表44）	----- 71
2 学生相談室利用状況（表45）	----- 73

	頁
<b>IX 財 務</b>	
1-1 消費収支計算書関係比率（法人全体のもの）（表46）	----- 74
1-2 消費収支計算書関係比率（大学単独のもの）（表46-2）	----- 75
2 貸借対照表関係比率（私立大学のみ）（表47）	----- 76
<b>X 情報公開・説明責任</b>	
1 財政公開状況（私立大学のみ）（表48）	----- 77
2 財政公開状況（公立大学法人のみ）（表48-2）	----- 78

※表20・表23・表24・表25は省略

※表16・表26～表28・表39は調査票の欠番

# I 教育研究組織

## 1 全学の設置学部・学科・大学院研究科等（2008年5月1日現在）

(表1)

名 称		開設年月日	所 在 地	備 考
文学部	英語コミュニケーション学科	1967年4月1日	京都市山科区大宅山田町34	1972年度に英文学科から英語英文学科に名称変更 2000年度に英語英文学科から英語コミュニケーション学科に名称変更
文学部	日本語日本文学科	1967年4月1日	同上	2000年度に国文学科から日本語日本文学科に名称変更
文学部	歴史学科	1967年4月1日	同上	
文学部	文化財学科	1997年4月1日	同上	
文学部	児童教育学科	2007年4月1日	同上	開設は届出による
文化政策学部	文化政策学科	2001年4月1日	同上	2008年度から文化政策学部は現代ビジネス学部に変更、文化政策学科は都市環境デザイン学科に改組
現代ビジネス学部	現代マネジメント学科	2005年4月1日	同上	2008年度から文化政策学部は現代ビジネス学部に変更 開設は届出による
現代ビジネス学部	都市環境デザイン学科	2008年4月1日	同上	開設は届出による
看護学部	看護学科	2005年4月1日	同上	
文学研究科	歴史学・文化財学専攻 博士前期課程	1994年4月1日	同上	1999年度に歴史学専攻修士課程は博士前期課程に改組 2002年度に歴史学・文化財学専攻博士前期課程に名称変更
文学研究科	言語文化専攻 修士課程	1996年4月1日	同上	2002年度に文学文化専攻は言語文化専攻に名称変更
文学研究科	歴史学・文化財学専攻 博士後期課程	1999年4月1日	同上	2002年度に歴史学専攻博士後期課程は歴史学・文化財学専攻博士後期課程に名称変更
文化政策学研究科	文化政策学専攻 博士前期課程	2003年4月1日	同上	
文化政策学研究科	文化政策学専攻 博士後期課程	2003年4月1日	同上	
看護学研究科	看護学専攻 修士課程	2008年4月1日	同上	
言語教育センター		1992年4月1日	同上	2005年度に外国語教育研究センターから言語教育センターに改組
女性歴史文化研究所		1992年7月18日	同上	
文化政策研究センター		2000年7月1日	同上	
看護実践異文化国際研究センター		2005年4月1日	同上	
看護教育研修センター		2006年4月1日	同上	
教育保育支援センター		2007年4月1日	同上	

- [注] 1 学部・学科、大学院研究科・専攻、研究所等ごとに記載してください。  
 2 当該学部、研究科の開設が届出による場合は、備考欄にその旨記載してください。  
 3 当該研究科もしくは専攻が専門職大学院である場合は、備考欄にその旨記載してください。  
 4 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等を担当する独立の組織がある場合には、学部にならい記載してください。  
 5 通信教育課程、専攻科、別科等があれば、これも記載してください。

## 2 全学の設置学部・学科・大学院研究科等（2009年4月1日現在）

(表2)

学部、大学院研究科等	学科、専攻の名称	収容定員(名)	所在地	備考
文学部	英語コミュニケーション学科	160	京都市山科区大宅山田町34	
文学部	日本語日本文学科	250	同上	
文学部	1967/4/1	360	同上	
文学部	文化財学科	200	同上	
文学部(※1)	児童教育学科	300	同上	2007年4月受け入れ開始
現代ビジネス学部(※2)	現代マネジメント学科	410	同上	2005年4月受け入れ開始
現代ビジネス学部(※1)	都市環境デザイン学科	260	同上	2008年4月受け入れ開始
文化政策学部	文化政策学科	210	同上	2008年4月募集停止
看護学部(※2)	看護学科	350	同上	2005年4月受け入れ開始
文学研究科	歴史学・文化財学専攻 博士前期課程	12	同上	
文学研究科	歴史学・文化財学専攻 博士後期課程	6	同上	
文学研究科	言語文化専攻 修士課程	16	同上	
文化政策学研究科	文化政策学専攻 博士前期課程	40	同上	
文化政策学研究科	文化政策学専攻 博士後期課程	15	同上	
看護学研究科(※1)	看護学専攻 修士課程	20	同上	2008年4月受け入れ開始
		(合計数) 2,609		

- [注] 1 申請年（2009年）4月1日付で設置している学部・学科、研究科・専攻を記入してください（募集停止しているものを含みます）。
- 2 通信教育課程があれば、これも記載してください。
- 3 申請年度（2009年度）から学生受け入れを開始、名称を変更した学部・学科、研究科・専攻名には、備考欄にその旨を付記してください。
- 4 学生募集を停止している学部・学科、研究科・専攻名には、備考欄にその旨を付記してください。
- 5 専門職大学院は、該当する研究科・専攻名に（ ）でその旨を明記してください。
- 6 申請年4月時に完成年度に達していない学部・学科、研究科・専攻には（※1）を、申請資格充足年度（完成年度＋1年）を経していない学部・学科、研究科・専攻には（※2）を付記し、備考欄に学生受け入れ年月を記入してください。
- 7 収容定員は、入学定員を変更している場合、編入学を実施している場合、完成年度に達していない場合、学生募集を停止している場合など、「現在の入学定員×標準修業年限」では算出できませんので注意してください。
- 8 現在、文部科学省に設置申請中の学部・学科、大学院研究科・専攻・課程（修士・博士）がある場合は、記載してください。

II 教育研究の内容・方法等

1 開設授業科目における専兼比率

(表3)

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
文 学 部	英語コミュニケーション学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	31.5	8	39.5
			兼任担当科目数 (B)	9.5	10	19.5
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	76.8%	44.4%	66.9%
		ベーシックスキル科目 および自由学修領域科目	専任担当科目数 (A)	16	120.5	157.5
			兼任担当科目数 (B)	146	117	290
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	9.9%	50.7%	35.2%
	日本語日本文学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	38	11	49
			兼任担当科目数 (B)	24	24	48
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	61.3%	31.4%	50.5%
		ベーシックスキル科目 および自由学修領域科目	専任担当科目数 (A)	16	120.5	157.5
			兼任担当科目数 (B)	146	117	290
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	9.9%	50.7%	35.2%
	歴史学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	64	16	80
			兼任担当科目数 (B)	11	19	30
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	85.3%	45.7%	72.7%
ベーシックスキル科目 および自由学修領域科目		専任担当科目数 (A)	16	120.5	157.5	
		兼任担当科目数 (B)	146	117	290	
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	9.9%	50.7%	35.2%	



(表3)

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
文 学 部	文 化 財 学 科	専門教育	専任担当科目数 (A)	38	14	52
			兼任担当科目数 (B)	0	14	14
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	50.0%	78.8%
		ベーシックスキル科目 および自由学修領域科目	専任担当科目数 (A)	16	120.5	157.5
			兼任担当科目数 (B)	146	117	290
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	9.9%	50.7%	35.2%
	児 童 教 育 学 科	専門教育	専任担当科目数 (A)	20.5	61	81.5
			兼任担当科目数 (B)	0.5	39	39.5
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	97.6%	61.0%	67.4%
		ベーシックスキル科目 および自由学修領域科目	専任担当科目数 (A)	16	115.5	154.5
			兼任担当科目数 (B)	146	115	287
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	9.9%	50.1%	35.0%
現 代 ビ ジ ネ ス 学 部	現 代 マ ネ ジ メ ン ト 学 科	専門教育	専任担当科目数 (A)	68	28.5	96.5
			兼任担当科目数 (B)	9	7.5	16.5
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	88.3%	79.2%	85.4%
		ベーシックスキル科目 および自由学修領域科目	専任担当科目数 (A)	16	120.5	157.5
			兼任担当科目数 (B)	146	117	290
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	9.9%	50.7%	35.2%

(表3)

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
現代ビジネス学部	都市環境デザイン学科 (文化政策学部文化政策学科)	専門教育	専任担当科目数 (A)	66	35	101
			兼任担当科目数 (B)	0	8	8
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	81.4%	92.7%
	ベーシックスキル科目 および自由学修領域科目	基礎科目および資格関係科目	専任担当科目数 (A)	16	120.5	157.5
			兼任担当科目数 (B)	146	117	290
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	9.9%	50.7%	35.2%
看護学部	看護学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	68.5	37.5	112
			兼任担当科目数 (B)	20.5	5.5	27
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	77.0%	87.2%	80.6%
	基礎科目および資格関係科目	基礎科目および資格関係科目	専任担当科目数 (A)	17	23.5	54.5
			兼任担当科目数 (B)	100	29.5	135.5
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	14.5%	44.3%	28.7%

- [注] 1 この表は、大学設置基準第10条にいう「教育上主要と認める授業科目」についての専任教員の担当状況を示すものです。
- 2 ここでいう「専任担当科目数」には、他学部・大学院研究科・研究所等の専任教員による兼担科目も含めてください。
- 3 「専門教育」欄および「教養教育」欄は、大学の設定する区分に応じて名称を付してください。その場合であっても、おおよそ専門教育的な教育と教養教育的な教育に分けて記入してください。
- 4 「全開設授業科目」欄には、「必修科目」「選択必修科目」のほか、「選択科目」「自由科目」など、すべての授業科目数の合計を記入してください。「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではありません。
- 5 セメスター制を採用しており、各学期ごとの状況に差がある場合はそれぞれの学期について作表してください。
- 6 同一科目を週2回実施している場合の計算方法は下記の通りです。  
 ①同一講師による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1となります。  
 ②複数教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、専任教員と兼任教員がそれぞれ担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5となります。
- 7 実験・実習等において兼任教員を含む複数の教員が担当する場合は、人数比による数値を記載してください（例：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任0.8、兼任0.2となります）。

2 単位互換協定に基づく単位認定の状況

(表4)

学部・学科		認定者数 (A)	他大学		短期大学		1人当たり 平均認定 単位数 (B+C) / A
			認定単位数 (B)		認定単位数 (C)		
			専門科目	専門以外	専門科目	専門以外	
文学部	英語コミュニケーション学科	0	0	0	0	0	0.0
	日本語日本文学科	4	0	20	0	3	5.8
	歴史学科	6	0	14	0	4	3.0
	文化財学科	5	0	14	0	0	2.8
	児童教育学科	0	0	0	0	0	0.0
計		15	0	48	0	7	3.7
文化政策学部	文化政策学科	1	0	6	0	0	6.0
	現代マネジメント学科	0	0	0	0	0	0.0
計		1	0	6	0	0	6.0
看護学部	看護学科	0	0	0	0	0	0.0
計		0	0	0	0	0	0.0
合計		16	0	54	0	7	3.8

[注] 1 他大学または短期大学との単位互換協定に基づき単位認定を行っているものを記載してください。

2 2007年度の実績を記入してください。

3 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況

(表5)

学 部 ・ 学 科		認定者数 (A)	大学・短大・高専等		その他		1人当たり平均 認定単位数 (B+C) / A
			認定単位数 (B)		認定単位数 (C)		
			専門科目	専門以外	専門科目	専門以外	
文 学 部	英語コミュニケーション学科	51	640	78	0	24	14.5
	日 本 語 日 本 文 学 科	1	0	0	0	1	1.0
	歴 史 学 科	4	0	0	0	9	2.3
	文 化 財 学 科	3	4	0	0	4	2.7
	児 童 教 育 学 科	2	0	8	0	0	4.0
計		61	644	86	0	38	12.6
文化政策学部	文 化 政 策 学 科	8	0	4	0	13	2.1
	現代マネジメント学科	6	0	0	0	8	1.3
計		14	0	4	0	21	1.8
看護学部	看 護 学 科	1	0	2	0	0	2.0
計		1	0	2	0	0	2.0
合 計		76	644	92	0	59	10.5

- [注] 1 原則として、大学設置基準第29条及び第30条で規定された「大学以外の教育施設等における学修」と「入学前の既修得単位等の認定」に該当するものを記載してください。  
ただし、上記には該当しないものの、単位互換協定以外で学生が国内外の大学において履修した授業科目の単位を自大学の単位として認定している場合は、本表の「大学・短大・高専等」欄に含めてください。
- 2 「大学・短大・高専等」欄には、大学、短期大学または高等専門学校の専攻科における学修を、「その他」欄には、「大学設置基準第29条第1項の規定により、大学が単位を与えることのできる学修を定める件」（平成12年文部科学省告示第181号）に定められた学修を記載してください。
- 3 2007年度の実績を記入してください。
- 4 編入学生はここには含めないでください。

## 4 卒業判定

(表6)

学部・学科		2005年度			2006年度			2007年度		
		卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100
文 学 部	英語コミュニケーション学科	39	38	97.4	26	26	100.0	34	33	97.1
	日本語日本文学科	91	86	94.5	87	81	93.1	95	90	94.7
	歴史学科	111	101	91.0	104	94	90.4	112	102	91.1
	文化財学科	81	75	92.6	73	66	90.4	68	62	91.2
計		322	300	93.2	290	267	92.1	309	287	92.9
文化政策学部	文化政策学科	156	144	92.3	172	160	93.0	154	147	95.5
計		156	144	92.3	172	160	93.0	154	147	95.5

[注] 「卒業予定者」とは、毎年度5月1日における当該学部の最終学年に在籍する学生を指します。

## 5 大学院における学位授与状況

(表7)

研究科・専攻			2003年度		2004年度		2005年度		2006年度		2007年度		備 考	
			修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数		
文学研究科	歴史学・文化財学専攻	修士(前期)	13	9	13	10	9	6	10	9	7	7		
		博士(課程)	1	1	2	1	1	0	1	0	3	0		
		博士(論文)	/	0	/	0	/	0	/	0	/	0		
		専門職学位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	言語文化専攻	修士(前期)	18	13	17	14	13	11	7	6	11	10		
		博士(課程)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		博士(論文)	/	-	/	-	/	-	/	-	/	-	-	
		専門職学位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
文化政策学研究科	文化政策学専攻	修士(前期)	-	-	26	21	27	21	26	19	12	7	2003年4月1日開設	
		博士(課程)	-	-	-	-	6	2	4	1	7	4	2003年4月1日開設	
		博士(論文)	/	-	/	-	/	0	/	0	/	0		
		専門職学位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

[注] 1 「修了予定者」欄には、留年者も含め、当該年度修了予定の在籍学生数を記入してください。

2 当該研究科もしくは専攻、課程が最近開設され、そのために学位授与該当者がいない場合は、備考欄にその開設年月日を記載してください。

## 6 就職・大学院進学状況

(表8)

学部・学科	進路		2005年度	2006年度	2007年度
文学部 英語コミュニケーション学科	就職	民間企業	27	20	30
		官公庁	0	0	0
		教員	1	0	0
		上記以外	1	0	0
	進学	自大学院	3	2	0
		他大学院	0	0	1
		その他	3	3	1
	その他		3	1	1
	合計		38	26	33
	文学部 日本語日本文学科	就職	民間企業	50	52
官公庁			2	5	4
教員			2	0	2
上記以外			1	0	0
進学		自大学院	7	5	3
		他大学院	0	1	3
		その他	6	4	5
その他		18	14	19	
合計		86	81	90	
文学部 歴史学科		就職	民間企業	61	58
	官公庁		5	6	6
	教員		1	2	0
	上記以外		0	0	0
	進学	自大学院	6	2	1
		他大学院	4	0	0
		その他	2	2	4
	その他		22	24	20
	合計		101	94	102

(表8)

学部・学科	進路		2005年度	2006年度	2007年度
文学部 文化財学科	就職	民間企業	38	43	44
		官公庁	5	8	1
		教員	0	0	1
		上記以外	0	0	0
	進学	自大学院	1	1	3
		他大学院	2	0	3
		その他	2	5	0
	そ の 他		27	9	10
	合 計		75	66	62
	文学部 児童教育学科	就職	民間企業	—	—
官公庁			—	—	—
教員			—	—	—
上記以外			—	—	—
進学		自大学院	—	—	—
		他大学院	—	—	—
		その他	—	—	—
そ の 他		—	—	—	
合 計		—	—	—	
文化政策学部 現代マネジメント学科		就職	民間企業	—	—
	官公庁		—	—	—
	教員		—	—	—
	上記以外		—	—	—
	進学	自大学院	—	—	—
		他大学院	—	—	—
		その他	—	—	—
	そ の 他		—	—	—
	合 計		—	—	—



(表8)

学部・学科	進 路		2005年度	2006年度	2007年度
文化政策学部 文化政策学科	就職	民間企業	102	130	118
		官公庁	2	5	1
		教員	0	0	0
		上記以外	0	0	0
	進学	自大学院	4	1	0
		他大学院	0	1	1
		その他	2	4	4
	そ の 他		34	19	23
	合 計		144	160	147
看護学部 看護学科	就職	民間企業	—	—	—
		官公庁	—	—	—
		教員	—	—	—
		上記以外	—	—	—
	進学	自大学院	—	—	—
		他大学院	—	—	—
		その他	—	—	—
	そ の 他		—	—	—
	合 計		—	—	—

- [注] 1 「その他」欄には、当該学部の各年度の卒業者のうち、就職、進学のいずれにも該当しないもののすべての数を記入してください。
- 2 専門学校教員、日本語教師、NGO団体、国際機関等への就職については、「就職（上記以外）」の欄に記入してください。
- 3 専門学校への進学は、「進学（その他）」欄に記入してください。

## 7 国家試験合格率 (表9)

該当なし

## 8 公開講座の開設状況

(表10)

大学 研究 学部 科	年間開設講座数(A)			募集人員(延べ数)			参加者(延べ数)(B)			1講座当たりの 平均受講者数 B/A			備考
	2005年度	2006年度	2007年度	2005年度	2006年度	2007年度	2005年度	2006年度	2007年度	2005年度	2006年度	2007年度	
文学部	1	1	2	600	600	660	405	296	462	405.0	296.0	231.0	
文化政策学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	
看護学部	0	0	1	0	0	120	0	0	96	0.0	0.0	96.0	
文学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
文化政策学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計	1	1	3	600	600	780	405	296	558	405.0	296.0	186.0	

[注] ここでいう公開講座とは、大学が社会人などを対象に開講する授業や、授業に匹敵する内容の講座です。シンポジウム、講演会は含めないでください。

## 9 学生の国別国際交流

(表11)

学部・研究科	台湾		韓国		中華人民共和国		その他		合 計	
	派 遣	受け入れ	派 遣	受け入れ	派 遣	受け入れ	派 遣	受け入れ	派 遣	受け入れ
文 学 部	0	12	1	4	0	4	0	0	1	20
文化政策学部	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
看護学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
文学研究科	1	0	—	0	—	0	—	0	1	0
文化政策学研究科	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
計	1	12	2	4	0	4	0	0	3	20

[注] 1 交流協定を締結している海外の大学との状況を中心に、主だった5カ国とその他に分けて記載してください。

2 学部・大学院研究科ごとに国別に派遣・受け入れ学生数を記入してください。

3 2008年5月1日現在で、6カ月以上の期間を要する学生数とします。

## 10 教員・研究者の国際学術研究交流

(表12)

学部・研究科等		派 遣						受 け 入 れ					
		2005年度		2006年度		2007年度		2005年度		2006年度		2007年度	
		短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期
文 学 部	新規	1	0	0	0	0	0	4	0	2	0	1	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
文化政策学部	新規	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
看護学部	新規	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	2	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
文学研究科	新規	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	継続	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
文化政策学研究科	新規	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	継続	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	新規	2	0	1	0	0	0	6	0	4	0	3	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

- [注] 1 派遣、受け入れとも1年未満のものを「短期」とし、それ以上を「長期」としてください。  
 2 各派遣者及び受け入れ者について、派遣及び受け入れが複数年度にわたる場合、初年度については「新規」欄に、次年度以降は「継続」欄に人数を記入してください。  
 3 旅費・滞在費等の経費負担が私費によるものも含め、全ての派遣者及び受け入れ者について記入してください。

Ⅲ 学生の受け入れ

1 学部・学科の志願者・合格者・入学者数の推移

(表13)

		入試の種類			2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	入学定員に対する入学者数の比率(2004～2008年平均)
			志願者	合格者						
文学部	英語コミュニケーション学科	一般入試	志願者		173	340	372	261	283	
			合格者		61	108	109	87	109	
			入学者(A)		16	25	20	17	18	
			入学定員(B)		17	22	22	25	25	
			A/B*100		94.1	113.6	90.9	68.0	72.0	
		A O 入試	志願者		3	5	5	5	4	
			合格者		3	5	5	5	4	
			入学者(A)		3	5	5	5	4	
			入学定員(B)		3	4	4	3	3	
			A/B*100		100.0	125.0	125.0	166.7	133.3	
		附属校推薦	志願者		1	1	1	3	4	
			合格者		1	1	1	3	4	
			入学者(A)		1	1	1	3	4	
			入学定員(B)		0	0	0	0	0	
			A/B*100		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		指定校推薦	志願者		3	11	6	5	5	
			合格者		3	11	6	5	5	
			入学者(A)		3	11	6	5	5	
			入学定員(B)		0	0	0	0	0	
			A/B*100		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		公募推薦入試	志願者		49	108	118	87	128	
			合格者		21	24	35	41	40	
			入学者(A)		12	9	10	20	8	
			入学定員(B)		10	14	14	12	12	
			A/B*100		120.0	64.3	71.4	166.7	66.7	
社会人入試	志願者		0	0	0	0	0			
	合格者		0	0	0	0	0			
	入学者(A)		0	0	0	0	0			
	入学定員(B)		0	0	0	0	0			
	A/B*100		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

(表13)

		入試の種類		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	入学定員に対する入学者数の比率 (2004～2008年平均)
文学部	英語コミュニケーション学科	留学生入試	志願者	0	1	0	0	0	116.0
			合格者	0	0	0	0	0	
			入学者(A)	0	0	0	0	0	
			入学定員(B)	0	0	0	0	0	
			A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		帰国生徒入試	志願者	1	1	1	0	1	
			合格者	1	1	0	0	1	
			入学者(A)	1	1	0	0	1	
			入学定員(B)	0	0	0	0	0	
			A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	学科計	志願者	230	467	503	361	425		
		合格者	90	150	156	141	163		
		入学者(A)	36	52	42	50	40		
		入学定員(B)	30	40	40	40	40		
		A/B*100	120.0	130.0	105.0	125.0	100.0		

[注] 1 「一般入試」欄には大学入試センター試験を含めてください。

2 「その他」欄には上記の表に該当しない入試の状況を記入してください。その際、該当する入試の名称を( )内に記入してください。ただし、相当数の学生(約一割以上)を入学させている入試方法がある場合は、「その他」に含めず適宜欄を設けて記入してください。なお、該当しない入試方法の欄は削除してください。

3 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。

4 学部が複数学科で構成されている場合は、「学部合計」欄を設けて各学科の「計」欄の総数を「志願者」「合格者」「入学者」「入学定員」ごとに記入してください。また、学科内に専攻等を設け、その専攻等ごとに入学定員を設定している場合は、専攻等ごとに作表してください。複数学部を設置している大学の場合は、「大学合計」欄を設け、「学部合計」と同様に記入してください。

5 入試の種類ごとに「入学定員に対する入学者」の割合を算出してください。

6 5カ年の「入学定員に対する入学者」の割合を合計し、5で除した数値を「入学定員に対する入学者数の比率(2004～2008年平均)」欄に記入してください。

7 「留学生入試」に交換留学生は含めないでください。

8 各入学(募集)定員が若干名の場合は「0」として記入してください。

(表13)

学部	入試の種類		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	入学定員に対する入学者数の比率 (2004～2008年平均)
文学部	一般入試	志願者	266	483	433	382	434	
		合格者	101	105	117	109	110	
		入学者(A)	24	24	32	27	14	
		入学定員(B)	22	24	22	25	25	
		A/B*100	109.1	100.0	145.5	108.0	56.0	
	A O 入試	志願者	6	4	6	5	5	
		合格者	6	4	6	5	5	
		入学者(A)	6	4	6	5	5	
		入学定員(B)	4	4	4	4	4	
		A/B*100	150.0	100.0	150.0	125.0	125.0	
	附属校推薦	志願者	0	1	2	3	1	
		合格者	0	1	2	3	1	
		入学者(A)	0	1	2	3	1	
		入学定員(B)	0	0	0	0	0	
		A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指定校推薦	志願者	10	11	8	21	10	
		合格者	10	11	8	21	10	
		入学者(A)	10	11	8	21	10	
		入学定員(B)	0	0	0	0	0	
		A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	公募推薦入試	志願者	61	96	93	92	134	
		合格者	32	22	23	36	27	
		入学者(A)	20	14	6	19	12	
		入学定員(B)	9	14	14	11	11	
		A/B*100	222.2	100.0	42.9	172.7	109.1	
	社会人入試	志願者	1	1	0	0	0	
		合格者	0	1	0	0	0	
		入学者(A)	0	1	0	0	0	
		入学定員(B)	0	0	0	0	0	
		A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	留学生入試	志願者	0	1	1	0	0	
		合格者	0	0	1	0	0	
		入学者(A)	0	0	0	0	0	
		入学定員(B)	0	0	0	0	0	
		A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	帰国生徒入試	志願者	0	1	1	0	0	
		合格者	0	0	0	0	0	
		入学者(A)	0	0	0	0	0	
		入学定員(B)	0	0	0	0	0	
		A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	その他 (特技推薦入試 [スポーツ部門])	志願者	2	0	0	1	0	
		合格者	2	0	0	1	0	
		入学者(A)	2	0	0	1	0	
		入学定員(B)	0	0	0	0	0	
A/B*100		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

(表13)

	入試の種類		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	入学定員に対する入学者数の比率 (2004～2008年平均)
文学部	一般入試	志願者	23	57	28	21	30	
		合格者	12	10	13	13	9	
		入学者(A)	9	3	5	9	4	
		入学定員(B)	17	6	7	7	5	
		A/B*100	52.9	50.0	71.4	128.6	80.0	
	A O 入試	志願者	—	11	9	9	12	
		合格者	—	11	9	9	12	
		入学者(A)	—	11	9	9	12	
		入学定員(B)	—	4	4	4	5	
		A/B*100	—	275.0	225.0	225.0	240.0	
	附属校推薦	志願者	2	1	1	0	0	
		合格者	2	1	1	0	0	
		入学者(A)	2	1	1	0	0	
		入学定員(B)	0	0	0	0	0	
		A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	社会人入試	志願者	0	1	2	0	0	
		合格者	0	0	0	0	0	
		入学者(A)	0	0	0	0	0	
		入学定員(B)	0	0	0	0	0	
		A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他 (特技推薦入試 [スポーツ部門])	志願者	34	51	33	35	29		
	合格者	27	13	14	14	10		
	入学者(A)	17	7	9	10	7		
	入学定員(B)	18	8	9	9	10		
	A/B*100	94.4	87.5	100.0	111.1	70.0		
学科計	志願者	405	719	617	569	655	133.7	
	合格者	192	179	194	211	184		
	入学者(A)	90	77	78	104	65		
	入学定員(B)	70	60	60	60	60		
	A/B*100	128.6	128.3	130.0	173.3	108.3		

[注] 1 「一般入試」欄には大学入試センター試験を含めてください。

2 「その他」欄には上記の表に該当しない入試の状況を記入してください。その際、該当する入試の名称を( )内に記入してください。ただし、相当数の学生(約一割以上)を入学させている入試方法がある場合は、「その他」に含めず適宜欄を設けて記入してください。なお、該当しない入試方法の欄は削除してください。

3 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。

4 学部が複数学科で構成されている場合は、「学部合計」欄を設けて各学科の「計」欄の総数を「志願者」「合格者」「入学者」「入学定員」ごとに記入してください。また、学科内に専攻等を設け、その専攻等ごとに入学定員を設定している場合は、専攻等ごとに作表してください。複数学部を設置している大学の場合は、「大学合計」欄を設け、「学部合計」と同様に記入してください。

5 入試の種類ごとに「入学定員に対する入学者」の割合を算出してください。

6 5カ年の「入学定員に対する入学者」の割合を合計し、5で除した数値を「入学定員に対する入学者数の比率(2004～2008年平均)」欄に記入してください。

7 「留学生入試」に交換留学生は含めないでください。

8 各入学(募集)定員が若干名の場合は「0」として記入してください。



(表13)

		入試の種類		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	入学定員に対する入学 者数の比率 (2004～ 2008年平均)
文学部	歴史学科	一般入試	志願者	360	825	581	606	698	
			合格者	188	234	212	222	231	
			入学者 (A)	62	53	49	59	51	
			入学定員 (B)	52	52	51	52	52	
			A/B*100	119.2	101.9	96.1	113.5	98.1	
		A O 入試	志願者	11	19	12	13	9	
			合格者	11	19	12	13	9	
			入学者 (A)	11	19	12	13	9	
			入学定員 (B)	9	9	9	8	8	
			A/B*100	122.2	211.1	133.3	162.5	112.5	
		附属校推薦	志願者	5	0	6	4	2	
			合格者	5	0	6	4	2	
			入学者 (A)	5	0	6	4	2	
			入学定員 (B)	0	0	0	0	0	
			A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		指定校推薦	志願者	3	19	19	11	13	
			合格者	3	19	19	11	13	
			入学者 (A)	3	19	19	11	13	
			入学定員 (B)	0	0	0	0	0	
			A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		公募推薦入試	志願者	68	112	134	146	195	
			合格者	34	35	39	53	64	
			入学者 (A)	23	17	25	32	25	
			入学定員 (B)	29	29	30	30	30	
A/B*100	79.3		58.6	83.3	106.7	83.3			

(表13)

	入試の種類		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	入学定員に対する入学者数の比率 (2004～2008年平均)	
文学部	歴史学科	社会人入試	志願者	0	2	1	0	1	
			合格者	0	2	0	0	1	
			入学者 (A)	0	2	0	0	1	
			入学定員 (B)	0	0	0	0	0	
			A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	留学生入試	志願者	0	0	0	1	0		
		合格者	0	0	0	0	0		
		入学者 (A)	0	0	0	0	0		
		入学定員 (B)	0	0	0	0	0		
		A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	帰国生徒入試	志願者	0	0	1	0	0		
		合格者	0	0	0	0	0		
		入学者 (A)	0	0	0	0	0		
		入学定員 (B)	0	0	0	0	0		
		A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	その他 (特技推薦入試 [スポーツ部門])	志願者	1	0	6	2	0		
		合格者	1	0	6	2	0		
		入学者 (A)	1	0	6	2	0		
		入学定員 (B)	0	0	0	0	0		
		A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
学科計	志願者	448	977	760	783	918			
	合格者	242	309	294	305	320			
	入学者 (A)	105	110	117	121	101			
	入学定員 (B)	90	90	90	90	90			
	A/B*100	116.7	122.2	130.0	134.4	112.2			
								123.1	

[注] 1 「一般入試」欄には大学入試センター試験を含めてください。

2 「その他」欄には上記の表に該当しない入試の状況を記入してください。その際、該当する入試の名称を（ ）内に記入してください。ただし、相当数の学生（約一割以上）を入学させている入試方法がある場合は、「その他」に含めず適宜欄を設けて記入してください。なお、該当しない入試方法の欄は削除してください。

3 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。

4 学部が複数学科で構成されている場合は、「学部合計」欄を設けて各学科の「計」欄の総数を「志願者」「合格者」「入学者」「入学定員」ごとに記入してください。また、学科内に専攻等を設け、その専攻等ごとに入学定員を設定している場合は、専攻等ごとに作表してください。複数学部を設置している大学の場合は、「大学合計」欄を設け、「学部合計」と同様に記入してください。

5 入試の種類ごとに「入学定員に対する入学者」の割合を算出してください。

6 5カ年の「入学定員に対する入学者」の割合を合計し、5で除した数値を「入学定員に対する入学者数の比率（2004～2008年平均）」欄に記入してください。

7 「留学生入試」に交換留学生は含めないでください。

8 各入学（募集）定員が若干名の場合は「0」として記入してください。

(表13)

		入試の種類		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	入学定員に対する入学者数の比率 (2004～2008年平均)
文学部	文化財学科	一般入試	志願者	229	551	403	273	481	
			合格者	124	127	126	177	164	
			入学者 (A)	36	33	27	37	29	
			入学定員 (B)	35	27	27	29	29	
			A/B*100	102.9	122.2	100.0	127.6	100.0	
		A O 入試	志願者	7	6	4	8	8	
			合格者	7	6	4	8	8	
			入学者 (A)	7	6	4	8	8	
			入学定員 (B)	6	5	5	5	5	
			A/B*100	116.7	120.0	80.0	160.0	160.0	
		附属校推薦	志願者	0	4	2	0	0	
			合格者	0	4	2	0	0	
			入学者 (A)	0	4	2	0	0	
			入学定員 (B)	0	0	0	0	0	
			A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		指定校推薦	志願者	9	12	11	4	2	
			合格者	9	12	11	4	2	
			入学者 (A)	9	12	11	4	2	
			入学定員 (B)	0	0	0	0	0	
			A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		公募推薦入試	志願者	55	72	67	56	116	
			合格者	26	20	20	26	57	
			入学者 (A)	13	15	13	9	16	
			入学定員 (B)	19	18	18	16	16	
			A/B*100	68.4	83.3	72.2	56.3	100.0	
		社会人入試	志願者	1	0	1	0	1	
			合格者	1	0	0	0	1	
			入学者 (A)	0	0	0	0	0	
入学定員 (B)	0		0	0	0	0			
A/B*100	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0			

(表13)

		入試の種類		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	入学定員に対する入学者数の比率 (2004～2008年平均)
文学部	文化財学科	留学生入試	志願者	0	0	0	0	0	119.2
			合格者	0	0	0	0	0	
			入学者 (A)	0	0	0	0	0	
			入学定員 (B)	0	0	0	0	0	
			A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		帰国生徒入試	志願者	0	0	0	0	0	
			合格者	0	0	0	0	0	
			入学者 (A)	0	0	0	0	0	
			入学定員 (B)	0	0	0	0	0	
			A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		その他 (特技推薦入試 [スポーツ部門])	志願者	1	0	0	1	3	
			合格者	1	0	0	1	3	
			入学者 (A)	1	0	0	1	2	
			入学定員 (B)	0	0	0	0	0	
			A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	学科計	志願者	302	645	488	342	611		
		合格者	168	169	163	216	235		
		入学者 (A)	66	70	57	59	57		
		入学定員 (B)	60	50	50	50	50		
		A/B*100	110.0	140.0	114.0	118.0	114.0		

[注] 1 「一般入試」欄には大学入試センター試験を含めてください。

2 「その他」欄には上記の表に該当しない入試の状況を記入してください。その際、該当する入試の名称を（ ）内に記入してください。ただし、相当数の学生（約一割以上）を入学させている入試方法がある場合は、「その他」に含めず適宜欄を設けて記入してください。なお、該当しない入試方法の欄は削除してください。

3 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。

4 学部が複数学科で構成されている場合は、「学部合計」欄を設けて各学科の「計」欄の総数を「志願者」「合格者」「入学者」「入学定員」ごとに記入してください。また、学科内に専攻等を設け、その専攻等ごとに入学定員を設定している場合は、専攻等ごとに作表してください。複数学部を設置している大学の場合は、「大学合計」欄を設け、「学部合計」と同様に記入してください。

5 入試の種類ごとに「入学定員に対する入学者」の割合を算出してください。

6 5カ年の「入学定員に対する入学者」の割合を合計し、5で除した数値を「入学定員に対する入学者数の比率（2004～2008年平均）」欄に記入してください。

7 「留学生入試」に交換留学生は含めないでください。

8 各入学（募集）定員が若干名の場合は「0」として記入してください。

(表13)

		入試の種類		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	入学定員に対する入学者数の比率(2004～2008年平均)	
文学部	※2007年4月開設 児童教育学科	一般入試	志願者	—	—	—	746	1,037	117.5	
			合格者	—	—	—	227	198		
			入学者(A)	—	—	—	82	49		
			入学定員(B)	—	—	—	60	60		
			A/B*100	—	—	—	136.7	81.7		
		A O 入試	志願者	—	—	—	—	7		7
			合格者	—	—	—	—	7		7
			入学者(A)	—	—	—	—	7		7
			入学定員(B)	—	—	—	—	5		5
			A/B*100	—	—	—	—	140.0		140.0
		附属校推薦	志願者	—	—	—	5	5		5
			合格者	—	—	—	5	5		5
			入学者(A)	—	—	—	5	5		5
			入学定員(B)	—	—	—	0	0		0
			A/B*100	—	—	—	0.0	0.0		0.0
		公募推薦入試	志願者	—	—	—	327	296		296
			合格者	—	—	—	74	60		60
			入学者(A)	—	—	—	56	31		31
			入学定員(B)	—	—	—	40	35		35
			A/B*100	—	—	—	140.0	88.6		88.6
学科計	志願者	—	—	—	1,078	1,345	1,345			
	合格者	—	—	—	306	270	270			
	入学者(A)	—	—	—	143	92	92			
	入学定員(B)	—	—	—	100	100	100			
	A/B*100	—	—	—	143.0	92.0	92.0			
学部合計	志願者	1,385	2,808	2,368	3,133	3,954	3,954			
	合格者	692	807	807	1,179	1,172	1,172			
	入学者(A)	297	309	294	477	355	355			
	入学定員(B)	250	240	240	340	340	340			
	A/B*100	118.8	128.8	122.5	140.3	104.4	104.4			

[注] 1 「一般入試」欄には大学入試センター試験を含めてください。

2 「その他」欄には上記の表に該当しない入試の状況を記入してください。その際、該当する入試の名称を( )内に記入してください。ただし、相当数の学生(約一割以上)を入学させている入試方法がある場合は、「その他」に含めず適宜欄を設けて記入してください。なお、該当しない入試方法の欄は削除してください。

3 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。

4 学部が複数学科で構成されている場合は、「学部合計」欄を設けて各学科の「計」欄の総数を「志願者」「合格者」「入学者」「入学定員」ごとに記入してください。また、学科内に専攻等を設け、その専攻等ごとに入学定員を設定している場合は、専攻等ごとに作表してください。複数学部を設置している大学の場合は、「大学合計」欄を設け、「学部合計」と同様に記入してください。

5 入試の種類ごとに「入学定員に対する入学者」の割合を算出してください。

6 5カ年の「入学定員に対する入学者」の割合を合計し、5で除した数値を「入学定員に対する入学者数の比率(2004～2008年平均)」欄に記入してください。

7 「留学生入試」に交換留学生は含めないでください。

8 各入学(募集)定員が若干名の場合は「0」として記入してください。

(表13)

		入試の種類		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	入学定員に対する入学者数の比率(2004～2008年平均)
※2008年4月より文化政策学部を現代ビジネス学部に変更	※2008年4月より文化政策学部を都市環境デザイン学科に改組	一般入試	志願者	334	771	554	688	—	
			合格者	184	173	199	286	—	
			入学者(A)	43	37	43	36	—	
			入学定員(B)	67	50	50	50	—	
			A/B*100	64.2	74.0	86.0	72.0	—	
		A O 入試	志願者	20	22	11	13	—	
			合格者	20	22	11	13	—	
			入学者(A)	20	21	11	13	—	
			入学定員(B)	13	10	10	10	—	
			A/B*100	153.8	210.0	110.0	130.0	—	
		附属校推薦	志願者	11	4	9	1	—	
			合格者	11	4	9	1	—	
			入学者(A)	11	4	9	1	—	
			入学定員(B)	0	0	0	0	—	
			A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	—	
		指定校推薦	志願者	48	78	32	30	—	
			合格者	47	78	32	30	—	
			入学者(A)	47	77	32	30	—	
			入学定員(B)	0	0	0	0	—	
			A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	—	
		公募推薦入試	志願者	96	254	197	182	—	
			合格者	60	39	60	75	—	
			入学者(A)	21	12	16	17	—	
			入学定員(B)	50	40	40	40	—	
			A/B*100	42.0	30.0	40.0	42.5	—	
		社会人入試	志願者	1	0	0	1	—	
			合格者	1	0	0	1	—	
			入学者(A)	1	0	0	1	—	
入学定員(B)	0		0	0	0	—			
A/B*100	0.0		0.0	0.0	0.0	—			

(表13)

	入試の種類		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	入学定員に対する入学者数の比率 (2004～2008年平均)
文化政策学部	留学生入試	志願者	1	3	0	1	—	124.2
		合格者	0	1	0	1	—	
		入学者 (A)	0	0	0	0	—	
		入学定員 (B)	0	0	0	0	—	
		A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	—	
	帰国生徒入試	志願者	0	1	1	0	—	
		合格者	0	1	0	0	—	
		入学者 (A)	0	0	0	0	—	
		入学定員 (B)	0	0	0	0	—	
		A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	—	
	その他 (特技推薦入試 [スポーツ部門])	志願者	2	4	4	5	—	
		合格者	2	4	4	5	—	
		入学者 (A)	2	4	4	5	—	
		入学定員 (B)	0	0	0	0	—	
		A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	—	
	その他 (特技推薦入試 [文化社会活動部門])	志願者	4	10	3	4	—	
		合格者	4	4	1	3	—	
		入学者 (A)	3	1	1	2	—	
		入学定員 (B)	0	0	0	0	—	
		A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	—	
	その他 (総合学科・専門学科推薦入試)	志願者	—	4	5	2	—	
		合格者	—	3	2	1	—	
		入学者 (A)	—	3	2	1	—	
		入学定員 (B)	—	0	0	0	—	
A/B*100		—	0.0	0.0	0.0	—		
学科計	志願者	517	1151	816	927	—		
	合格者	329	329	318	416	—		
	入学者 (A)	148	159	118	106	—		
	入学定員 (B)	130	100	100	100	—		
	A/B*100	113.8	159.0	118.0	106.0	—		

[注] 1 「一般入試」欄には大学入試センター試験を含めてください。

2 「その他」欄には上記の表に該当しない入試の状況を記入してください。その際、該当する入試の名称を ( ) 内に記入してください。ただし、相当数の学生 (約一割以上) を入学させている入試方法がある場合は、「その他」に含めず適宜欄を設けて記入してください。なお、該当しない入試方法の欄は削除してください。

3 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。

4 学部が複数学科で構成されている場合は、「学部合計」欄を設けて各学科の「計」欄の総数を「志願者」「合格者」「入学者」「入学定員」ごとに記入してください。また、学科内に専攻等を設け、その専攻等ごとに入学定員を設定している場合は、専攻等ごとに作表してください。複数学部を設置している大学の場合は、「大学合計」欄を設け、「学部合計」と同様に記入してください。

5 入試の種類ごとに「入学定員に対する入学者」の割合を算出してください。

6 5カ年の「入学定員に対する入学者」の割合を合計し、5で除した数値を「入学定員に対する入学者数の比率 (2004～2008年平均)」欄に記入してください。

7 「留学生入試」に交換留学生は含めないでください。

8 各入学 (募集) 定員が若干名の場合は「0」として記入してください。

(表13)

	入試の種類		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	入学定員に対する入学 者数の比率 (2004～ 2008年平均)
※2008年4月より 現代ビジネス学部 ※2005年度開設し、 08年度から現代マ ネジメントコース で募集	一般入試	志願者	—	408	497	603	585	
		合格者	—	112	172	220	204	
		入学定員 (A)	—	27	29	30	53	
		入学定員 (B)	—	40	40	40	35	
	A/B*100	—	67.5	72.5	75.0	151.4		
	A O 入試	志願者	—	7	10	11	13	
		合格者	—	7	10	11	13	
		入学定員 (A)	—	7	10	11	13	
		入学定員 (B)	—	0	8	8	7	
	A/B*100	—	0.0	125.0	137.5	185.7		
	附属校推薦	志願者	—	10	5	7	11	
		合格者	—	10	5	7	11	
		入学定員 (A)	—	10	5	7	11	
		入学定員 (B)	—	0	0	0	0	
	A/B*100	—	0.0	0.0	0.0	0.0		
	指定校推薦	志願者	—	33	23	18	32	
		合格者	—	33	23	18	32	
		入学定員 (A)	—	33	23	18	32	
		入学定員 (B)	—	0	0	0	0	
	A/B*100	—	0.0	0.0	0.0	0.0		
	公募推薦入試	志願者	—	187	172	171	159	
		合格者	—	46	50	73	51	
		入学定員 (A)	—	14	11	31	13	
		入学定員 (B)	—	40	32	32	28	
	A/B*100	—	35.0	34.4	96.9	46.4		
	社会人入試	志願者	—	0	0	2	0	
		合格者	—	0	0	1	0	
入学定員 (A)		—	0	0	1	0		
入学定員 (B)		—	0	0	0	0		
A/B*100	—	0.0	0.0	0.0	0.0			
留学生入試	志願者	—	1	0	0	0		
	合格者	—	0	0	0	0		
	入学定員 (A)	—	0	0	0	0		
	入学定員 (B)	—	0	0	0	0		
A/B*100	—	0.0	0.0	0.0	0.0			
帰国生徒入試	志願者	—	0	0	0	2		
	合格者	—	0	0	0	2		
	入学定員 (A)	—	0	0	0	1		
	入学定員 (B)	—	0	0	0	0		
A/B*100	—	0.0	0.0	0.0	0.0			
その他の (特技推薦入試 [スポーツ部門])	志願者	—	2	7	3	2		
	合格者	—	2	7	3	2		
	入学定員 (A)	—	2	7	3	2		
	入学定員 (B)	—	0	0	0	0		
A/B*100	—	0.0	0.0	0.0	0.0			
その他の (特技推薦入試 [文化社会活動部門])	志願者	—	7	2	3	4		
	合格者	—	3	2	3	2		
	入学定員 (A)	—	2	1	3	1		
	入学定員 (B)	—	0	0	0	0		
A/B*100	—	0.0	0.0	0.0	0.0			
その他の (総合学科・専門学 科推薦入試)	志願者	—	2	1	3	4		
	合格者	—	1	1	2	4		
	入学定員 (A)	—	0	0	1	3		
	入学定員 (B)	—	0	0	0	0		
A/B*100	—	0.0	0.0	0.0	0.0			



(表13)

	入試の種類		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	入学定員に対する入学者数の比率(2004～2008年平均)	
現代ビジネス学部	現代救急マネジメント学科	一般入試	志願者	—	—	—	—	177	125.7
			合格者	—	—	—	—	86	
			入学者(A)	—	—	—	—	17	
			入学定員(B)	—	—	—	—	30	
		A/B*100	—	—	—	—	56.7		
		AO入試	志願者	—	—	—	—	20	
			合格者	—	—	—	—	20	
			入学者(A)	—	—	—	—	19	
			入学定員(B)	—	—	—	—	0	
		A/B*100	—	—	—	—	0.0		
		附属校推薦	志願者	—	—	—	—	0	
			合格者	—	—	—	—	0	
	入学者(A)		—	—	—	—	0		
	入学定員(B)		—	—	—	—	0		
	A/B*100	—	—	—	—	0.0			
	公募推薦入試	志願者	—	—	—	—	51		
		合格者	—	—	—	—	24		
		入学者(A)	—	—	—	—	9		
		入学定員(B)	—	—	—	—	20		
	A/B*100	—	—	—	—	45.0			
学科計	志願者	—	657	717	821	1060			
	合格者	—	214	270	338	451			
	入学者(A)	—	95	86	105	174			
	入学定員(B)	—	80	80	80	120			
	A/B*100	—	118.8	107.5	131.3	145.0			

[注] 1 「一般入試」欄には大学入試センター試験を含めてください。

2 「その他」欄には上記の表に該当しない入試の状況を記入してください。その際、該当する入試の名称を( )内に記入してください。ただし、相当数の学生(約一割以上)を入学させている入試方法がある場合は、「その他」に含めず適宜欄を設けて記入してください。なお、該当しない入試方法の欄は削除してください。

3 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。

4 学部が複数学科で構成されている場合は、「学部合計」欄を設けて各学科の「計」欄の総数を「志願者」「合格者」「入学者」「入学定員」ごとに記入してください。また、学科内に専攻等を設け、その専攻等ごとに入学定員を設定している場合は、専攻等ごとに作表してください。複数学部を設置している大学の場合は、「大学合計」欄を設け、「学部合計」と同様に記入してください。

5 入試の種類ごとに「入学定員に対する入学者」の割合を算出してください。

6 5カ年の「入学定員に対する入学者」の割合を合計し、5で除した数値を「入学定員に対する入学者数の比率(2004～2008年平均)」欄に記入してください。

7 「留学生入試」に交換留学生は含めないでください。

8 各入学(募集)定員が若干名の場合は「0」として記入してください。

(表13)

		入試の種類		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	入学定員に対する入学者数の比率(2004～2008年平均)
※2008年4月より現代ビジネス学部	※2008年4月より文化政策学科を都市環境デザイン学科に改組	一般入試	志願者	—	—	—	—	484	
			合格者	—	—	—	—	249	
			入学者(A)	—	—	—	—	48	
			入学定員(B)	—	—	—	—	65	
			A/B*100	—	—	—	—	73.8	
		A O 入試	志願者	—	—	—	—	20	
			合格者	—	—	—	—	20	
			入学者(A)	—	—	—	—	20	
			入学定員(B)	—	—	—	—	13	
			A/B*100	—	—	—	—	153.8	
		附属校推薦	志願者	—	—	—	—	9	
			合格者	—	—	—	—	9	
			入学者(A)	—	—	—	—	9	
			入学定員(B)	—	—	—	—	0	
			A/B*100	—	—	—	—	0.0	
		指定校推薦	志願者	—	—	—	—	7	
			合格者	—	—	—	—	7	
			入学者(A)	—	—	—	—	7	
			入学定員(B)	—	—	—	—	0	
			A/B*100	—	—	—	—	0.0	
公募推薦入試	志願者	—	—	—	—	130			
	合格者	—	—	—	—	86			
	入学者(A)	—	—	—	—	42			
	入学定員(B)	—	—	—	—	52			
	A/B*100	—	—	—	—	80.8			
社会人入試	志願者	—	—	—	—	0			
	合格者	—	—	—	—	0			
	入学者(A)	—	—	—	—	0			
	入学定員(B)	—	—	—	—	0			
	A/B*100	—	—	—	—	0.0			

(表13)

	入試の種類		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	入学定員に対する入学者数の比率 (2004～2008年平均)
現代ビジネス学部	留学生入試	志願者	—	—	—	—	0	101.5
		合格者	—	—	—	—	0	
		入学者 (A)	—	—	—	—	0	
		入学定員 (B)	—	—	—	—	0	
		A/B*100	—	—	—	—	0.0	
	帰国生徒入試	志願者	—	—	—	—	0	
		合格者	—	—	—	—	0	
		入学者 (A)	—	—	—	—	0	
		入学定員 (B)	—	—	—	—	0	
		A/B*100	—	—	—	—	0.0	
	その他 (特技推薦入試 [スポーツ部門])	志願者	—	—	—	—	1	
		合格者	—	—	—	—	1	
		入学者 (A)	—	—	—	—	1	
		入学定員 (B)	—	—	—	—	0	
	その他 (特技推薦入試 [文化社会活動部門])	志願者	—	—	—	—	4	
		合格者	—	—	—	—	4	
		入学者 (A)	—	—	—	—	2	
		入学定員 (B)	—	—	—	—	0	
	その他 (総合学科・専門学 科推薦入試)	志願者	—	—	—	—	4	
		合格者	—	—	—	—	4	
入学者 (A)		—	—	—	—	3		
入学定員 (B)		—	—	—	—	0		
学 科 計	A/B*100	—	—	—	—	0.0		
	志願者	—	—	—	—	659		
	合格者	—	—	—	—	380		
	入学者 (A)	—	—	—	—	132		
	入学定員 (B)	—	—	—	—	130		
学 部 合 計 (*)	A/B*100	—	—	—	—	101.5		
	志願者	—	657	717	821	1,719		
	合格者	—	214	270	338	831		
	入学者 (A)	—	95	86	105	306		
	入学定員 (B)	—	80	80	80	250		
学 部 合 計 (*)	A/B*100	—	118.8	107.5	131.3	122.4		
	志願者	—	657	717	821	1,719		
	合格者	—	214	270	338	831		
	入学者 (A)	—	95	86	105	306		
	入学定員 (B)	—	80	80	80	250		

[注] 1 「一般入試」欄には大学入試センター試験を含めてください。

2 「その他」欄には上記の表に該当しない入試の状況を記入してください。その際、該当する入試の名称を( )内に記入してください。ただし、相当数の学生(約一割以上)を入学させている入試方法がある場合は、「その他」に含めず適宜欄を設けて記入してください。なお、該当しない入試方法の欄は削除してください。

3 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。

4 学部が複数学科で構成されている場合は、「学部合計」欄を設けて各学科の「計」欄の総数を「志願者」「合格者」「入学者」「入学定員」ごとに記入してください。また、学科内に専攻等を設け、その専攻等ごとに入学定員を設定している場合は、専攻等ごとに作表してください。複数学部を設置している大学の場合は、「大学合計」欄を設け、「学部合計」と同様に記入してください。

5 入試の種類ごとに「入学定員に対する入学者」の割合を算出してください。

6 5カ年の「入学定員に対する入学者」の割合を合計し、5で除した数値を「入学定員に対する入学者数の比率(2004～2008年平均)」欄に記入してください。

7 「留学生入試」に交換留学生は含めないでください。

8 各入学(募集)定員が若干名の場合は「0」として記入してください。

\* 「学部合計」欄には「文化政策学科」の実績は含まれていない。

(表13)

	入試の種類		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	入学定員に対する入学者数の比率(2004～2008年平均)	
看護学部	一般入試	志願者	—	989	1,079	943	963	115.6	
		合格者	—	96	181	250	213		
		入学者(A)	—	41	43	55	52		
		入学定員(B)	—	44	46	52	62		
		A/B*100	—	93.2	93.5	105.8	83.9		
	附属校推薦	志願者	—	4	4	0	4		
		合格者	—	4	4	0	4		
		入学者(A)	—	4	4	0	4		
		入学定員(B)	—	0	0	0	0		
		A/B*100	—	0.0	0.0	0.0	0.0		
	指定校推薦	志願者	—	39	—	—	—		
		合格者	—	39	—	—	—		
		入学者(A)	—	39	—	—	—		
		入学定員(B)	—	0	—	—	—		
		A/B*100	—	0.0	—	—	—		
	公募推薦入試	志願者	—	435	395	354	299		
		合格者	—	11	55	83	77		
		入学者(A)	—	4	38	52	44		
		入学定員(B)	—	36	34	28	28		
		A/B*100	—	11.1	111.8	185.7	157.1		
	社会人入試	志願者	—	—	—	—	6		
		合格者	—	—	—	—	2		
		入学者(A)	—	—	—	—	1		
		入学定員(B)	—	—	—	—	0		
		A/B*100	—	—	—	—	0.0		
	学科計	志願者	—	1,467	1,478	1,297	1,272		115.6
		合格者	—	150	240	333	296		
入学者(A)		—	88	85	107	101			
入学定員(B)		—	80	80	80	90			
A/B*100		—	110.0	106.3	133.8	112.2			
学部合計	志願者	—	1,467	1,478	1,297	1,272	115.6		
	合格者	—	150	240	333	296			
	入学者(A)	—	88	85	107	101			
	入学定員(B)	—	80	80	80	90			
	A/B*100	—	110.0	106.3	133.8	112.2			

(表13)

	入試の種類	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	入学定員に対する入学者数の比率(2004～2008年平均)
大 学 合 計 (*)	志 願 者	1,385	4,932	4,563	5,251	6,945	121.6
	合 格 者	692	1,171	1,317	1,850	2,299	
	入 学 者 (A)	297	492	465	689	762	
	入 学 定 員 (B)	250	400	400	500	680	
	A/B*100	118.8	123.0	116.3	137.8	112.1	

[注] 1 「一般入試」欄には大学入試センター試験を含めてください。

2 「その他」欄には上記の表に該当しない入試の状況を記入してください。その際、該当する入試の名称を( )内に記入してください。ただし、相当数の学生(約一割以上)を入学させている入試方法がある場合は、「その他」に含めず適宜欄を設けて記入してください。なお、該当しない入試方法の欄は削除してください。

3 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。

4 学部が複数学科で構成されている場合は、「学部合計」欄を設けて各学科の「計」欄の総数を「志願者」「合格者」「入学者」「入学定員」ごとに記入してください。また、学科内に専攻等を設け、その専攻等ごとに入学定員を設定している場合は、専攻等ごとに作表してください。複数学部を設置している大学の場合は、「大学合計」欄を設け、「学部合計」と同様に記入してください。

5 入試の種類ごとに「入学定員に対する入学者」の割合を算出してください。

6 5カ年の「入学定員に対する入学者」の割合を合計し、5で除した数値を「入学定員に対する入学者数の比率(2004～2008年平均)」欄に記入してください。

7 「留学生入試」に交換留学生は含めないでください。

8 各入学(募集)定員が若干名の場合は「0」として記入してください。

\* 「大学合計」欄には「文化政策学部 文化政策学科」の実績は含まれていない。

## 2 学部・学科の学生定員及び在籍学生数

(表14)

学 部	学 科	入 学 員 定 員	編 入 員	収容定員		在籍学生数		B/A	D/C	在 籍 学 生 数								備 考
				総 数 (A)	う ち 編 入 学生数 (C)	総 数 (B)	う ち 編 入 学生数 (D)			第 1 年 次		第 2 年 次		第 3 年 次		第 4 年 次		
										学生数	留年者数 (内数)	学生数	留年者数 (内数)	学生数	留年者数 (内数)	学生数	留年者数 (内数)	
文 学 部	英語コミュニケーション学科	40	—	160	—	184	—	1.15	—	42	0	48	0	43	0	51	0	
	日本語日本文学科	60	5	250	10	320	3	1.28	0.30	67	0	101	0	78	0	74	1	3年次編入5人
	歴史学科	90	—	360	—	444	—	1.23	—	103	0	118	0	111	0	112	4	
	文化財学科	50	—	200	—	244	—	1.22	—	57	0	60	0	56	0	71	4	2005年より2年次編入3人を0に改定
	児童教育学科	100	—	200	—	233	—	1.17	—	92	0	141	—	—	—	—	—	2007年開設
計		340	5	1,170	10	1,425	3	1.22	0.30	361	0	468	0	288	0	308	9	
現 代 ビジネ ス 学 部	現代マネジメント学科	120	5	370	10	444	4	1.20	0.40	175	0	100	0	81	0	88	—	3年次編入5人 2007. 2006. 2005の入学定員は80人
	都市環境デザイン学科	130	—	130	—	132	—	1.02	—	132	—	—	—	—	—	—	—	2008年より文化政策学科を改組
	文化政策学科	—	5	310	10	377	4	1.22	0.40	0	0	105	0	113	0	159	4	3年次編入5人 2005年より2年次編入定員を20人から0へ改定 2007. 2006. 2005の入学定員は100人
計		250	10	810	20	953	8	1.18	0.40	307	0	205	0	194	0	247	4	
看 護 学 部	看護学科	90	5	350	20	388	9	1.11	0.45	102	0	109	0	85	0	92	—	3年次編入5人 2008年より3年次編入定員15人を5人へ改定 2007. 2006. 2005の入学定員は80人
計		90	5	350	20	388	9	1.11	0.45	102	0	109	0	85	0	92	—	
合 計		680	20	2,330	50	2,766	20	1.19	0.40	770	0	782	0	567	0	647	13	

[注] 1 昼夜開講制をとっている学部については、昼間主コースと夜間主コースにそれぞれ分けて記入してください。

2 収容定員は、定員変更などにより、現在の入学定員の4倍（6年制の学部は6倍）ではない場合がありますので、該当する年度ごとの入学定員、編入定員に注意してください。

3 現在の在籍学生に関わる入学定員及び編入定員に変更があった場合には、「備考」欄に注記してください。

4 修業年限を6年とする学部・学科の場合には、第6年次まで作表してください。

5 編入定員を設定している場合は、備考欄にその受け入れ年次を記入してください。

6 「B/A」及び「D/C」欄については、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで表示してください。

7 通信教育課程、専攻科、別科等についても学部の表に準じて作成してください。

## 3 学部の入学者の構成

(表15)

学 部	学 科		入 学 者 数									備 考	
			一般入試	A0入試	附属校 推 薦	指定校 推 薦	公募推 薦入試	社会人 入 試	留学生 入 試	帰国生 徒入試	その他		計
文 学 部	英語コミュニケーション学科	募集定員	25	3	0	0	12	0	0	0	—	40	特技推薦入試[書道部門]による入学者7人
		入学者数	18	4	4	5	8	0	0	1	—	40	
		計に対する割合	45.0%	10.0%	10.0%	12.5%	20.0%	0.0%	0.0%	2.5%	—	100.0%	
	日本語日本文学科	募集定員	30	9	0	0	11	0	0	0	10	60	
		入学者数	18	17	1	10	12	0	0	0	7	65	
		計に対する割合	27.7%	26.2%	1.5%	15.4%	18.5%	0.0%	0.0%	0.0%	10.8%	100.0%	
	歴史学科	募集定員	52	8	0	0	30	0	0	0	0	90	
		入学者数	51	9	2	13	25	1	0	0	0	101	
		計に対する割合	50.5%	8.9%	2.0%	12.9%	24.8%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	文化財学科	募集定員	29	5	0	0	16	0	0	0	0	50	
		入学者数	29	8	0	2	16	0	0	0	2	57	
		計に対する割合	50.9%	14.0%	0.0%	3.5%	28.1%	0.0%	0.0%	0.0%	3.5%	100.0%	
児童教育学科	募集定員	60	5	0	—	35	—	—	—	—	100		
	入学者数	49	7	5	—	31	—	—	—	—	92		
	計に対する割合	53.3%	7.6%	5.4%	—	33.7%	—	—	—	—	100.0%		
合 計	募集定員	196	30	0	0	104	0	0	0	10	340		
	入学者数	165	45	12	30	92	1	0	1	9	355		
	計に対する割合	46.5%	12.7%	3.4%	8.5%	25.9%	0.3%	0.0%	0.3%	2.5%	100.0%		
現代ビジネス 学 部	現代マネジメント 学科	募集定員	65	7	0	0	48	0	0	0	0	120	
		入学者数	70	32	11	32	22	0	0	1	6	174	
		計に対する割合	40.2%	18.4%	6.3%	18.4%	12.6%	0.0%	0.0%	0.6%	3.4%	100.0%	
	都市環境デザイン 学科	募集定員	65	13	0	0	52	0	0	0	0	130	
		入学者数	48	20	9	7	42	0	0	0	6	132	
		計に対する割合	36.4%	15.2%	6.8%	5.3%	31.8%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	100.0%	
合 計	募集定員	130	20	0	0	100	0	0	0	0	250		
	入学者数	118	52	20	39	64	0	0	1	12	306		
	計に対する割合	38.6%	17.0%	6.5%	12.7%	20.9%	0.0%	0.0%	0.3%	3.9%	100.0%		
看 護 学 部	看護学科	募集定員	62	—	0	—	28	0	—	—	—	90	
		入学者数	52	—	4	—	44	1	—	—	—	101	
		計に対する割合	51.5%	—	4.0%	—	43.6%	1.0%	—	—	—	100.0%	
合 計	募集定員	62	—	0	—	28	0	—	—	—	90		
	入学者数	52	—	4	—	44	1	—	—	—	101		
	計に対する割合	51.5%	—	4.0%	—	43.6%	1.0%	—	—	—	100.0%		

[注] 1 入試の種類については、「Ⅲ 1 学部・学科の志願者・合格者・入学者数の推移」(表13)と同様の区分で作成してください。

2 各学科および合計欄の下段には全入学者数に対する入試の種類ごとの割合を記入してください。

3 「一般入試」欄には大学入試センター試験を含めてください。

4 「その他」の入試による内訳を、備考欄に記載してください。

5 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。

6 各募集定員が若干名の場合は「0」として記入してください。

## 4 学部・学科の退学者数

(表17)

学部	学科	2005年度					2006年度					2007年度				
		1年次	2年次	3年次	4年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
文学部	英語コミュニケーション学科	1	4	0	2	7	4	0	1	0	5	1	1	1	0	3
	日本語日本文学科	2	2	1	1	6	1	2	1	1	5	2	5	2	2	11
	歴史学科	0	4	1	6	11	3	2	3	0	8	5	4	1	4	14
	文化財学科	3	1	2	4	10	1	1	1	4	7	3	1	2	1	7
	児童教育学科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	2
計		6	11	4	13	34	9	5	6	5	25	13	11	6	7	37
文化政策学部	文化政策学科	2	2	3	1	8	3	4	0	3	10	5	3	3	4	15
	現代マネジメント学科	3	—	—	—	3	3	5	—	—	8	4	3	2	—	9
計		5	2	3	1	11	6	9	0	3	18	9	6	5	4	24
看護学部	看護学科	0	—	—	—	0	0	1	—	—	1	1	0	0	—	1
計		0	—	—	—	0	0	1	—	—	1	1	0	0	—	1
合計		11	13	7	14	45	15	15	6	8	44	23	17	11	11	62

[注] 1 退学者数には、除籍者も含めてください。

2 修業年限を6年とする学部・学科の場合には、第6年次まで作表してください。



## 5 大学院研究科の学生定員及び在籍学生数

(表18)

研究科	専攻	入学定員		収容定員		在籍学生数											
		修士課程	博士課程	修士課程(A)	博士課程(B)	修士課程						博士課程					
						一般	社会人	留学生	その他	計(C)	C/A	一般	社会人	留学生	その他	計(D)	D/B
文学研究科	言語文化専攻	8	—	16	—	12	2	2	0	16	1.00	—	—	—	—	—	—
	歴史学・文化財学専攻	6	2	12	6	8	0	3	0	11	0.92	2	—	—	—	2	0.33
計		14	2	28	6	20	2	5	0	27	0.96	2	—	—	—	2	0.33
文化政策学研究科	文化政策学専攻	20	5	40	15	6	8	1	0	15	0.38	7	3	0	0	10	0.67
計		20	5	40	15	6	8	1	0	15	0.38	7	3	0	0	10	0.67
看護学研究科	看護学専攻	10	—	10	—	9	—	—	—	9	0.90	—	—	—	—	—	—
計		10	—	10	—	9	—	—	—	9	0.90	—	—	—	—	—	—
合計		44	7	78	21	35	10	6	0	51	0.65	9	3	0	0	12	0.57

- [注] 1 博士課程を前期と後期に区分している場合は、前期課程は修士課程の欄に後期課程は博士課程の欄に記載してください。  
また、5年一貫制の博士課程は博士課程の欄に記載してください。
- 2 専門職学位課程については、該当する研究科・専攻名の後に「(専門職)」と付記し、付与する学位の種類に対応する欄に記載してください。
- 3 科目等履修生、聴講生、研究生は、在籍学生数には含めないでください。
- 4 「収容定員に対する在籍学生数比率」(C/AおよびD/B)欄については、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで表示してください。

## 6 法科大学院の学生定員及び在籍学生数 (表18-2)

該当なし

7 大学院研究科の志願者・合格者・入学者数の推移

(表18-3)

研究科名	専攻名	入試の種類		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	入学定員に対する入学者数の比率(2004～2008年平均)	
文学研究科	言語文化専攻	修士課程	一般入試	志願者	8	7	4	9	5	
				合格者	7	2	3	7	3	
				入学者(A)	7	2	3	7	3	
				入学定員(B)	0	0	0	0	0	
				A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		社会人入試	志願者	0	2	0	2	0		
			合格者	0	1	0	2	0		
			入学者(A)	0	1	0	2	0		
			入学定員(B)	0	0	0	0	0		
			A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
		留学生入試	志願者	4	2	3	2	3		
			合格者	2	1	2	2	1		
			入学者(A)	1	1	1	2	0		
			入学定員(B)	0	0	0	0	0		
			A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
		その他 (学内進学制度)	志願者	6	2	8	—	—		
			合格者	3	2	8	—	—		
			入学者(A)	3	2	8	—	—		
			入学定員(B)	0	0	0	—	—		
			A/B*100	0.0	0.0	0.0	—	—		
課程計	志願者	18	13	15	13	8				
	合格者	12	6	13	11	4				
	入学者(A)	11	6	12	11	3				
	入学定員(B)	8	8	8	8	8				
	A/B*100	137.5	75.0	150.0	137.5	37.5				
専攻計	志願者	18	13	15	13	8				
	合格者	12	6	13	11	4				
	入学者(A)	11	6	12	11	3				
	入学定員(B)	8	8	8	8	8				
	A/B*100	137.5	75.0	150.0	137.5	37.5				

(表18-3)

研究 科名	専攻名		入試の種類		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	入学定員に対する入学 者数の比率(2004～ 2008年平均)
文学 研究 科	歴史学・文化財学専攻	博士前期課程	一般入試	志願者	7	8	8	6	9	
				合格者	5	5	7	4	5	
				入学者(A)	5	3	6	4	4	
				入学定員(B)	0	0	0	0	0	
				A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
			社会人入試	志願者	5	5	2	2	0	
				合格者	1	2	1	0	0	
				入学者(A)	0	2	1	0	0	
				入学定員(B)	0	0	0	0	0	
				A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
			留学生入試	志願者	2	2	0	1	3	
				合格者	0	0	0	1	2	
				入学者(A)	0	0	0	1	2	
				入学定員(B)	0	0	0	0	0	
				A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
			その他 (学内進学制度)	志願者	1	3	1	—	—	
				合格者	1	2	0	—	—	
				入学者(A)	1	2	0	—	—	
				入学定員(B)	0	0	0	—	—	
				A/B*100	0.0	0.0	0.0	—	—	
課 程 計	志願者	15	18	11	9	12				
	合格者	7	9	8	5	7				
	入学者(A)	6	7	7	5	6				
	入学定員(B)	6	6	6	6	6				
	A/B*100	100.0	116.7	116.7	83.3	100.0				
									103.3	

(表18-3)

研究科名	専攻名		入試の種類		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	入学定員に対する入学者数の比率(2004～2008年平均)
文学研究科	歴史学・文化財学専攻	博士後期課程	一般入試	志願者	4	3	1	0	0	40.0
				合格者	2	3	0	0	0	
				入学者(A)	1	3	0	0	0	
				入学定員(B)	2	2	2	2	2	
				A/B*100	50.0	150.0	0.0	0.0	0.0	
		課程計	志願者	4	3	1	0	0		
			合格者	2	3	0	0	0		
			入学者(A)	1	3	0	0	0		
			入学定員(B)	2	2	2	2	2		
			A/B*100	50.0	150.0	0.0	0.0	0.0		
	専攻計	志願者	19	21	12	9	12	87.5		
		合格者	9	12	8	5	7			
		入学者(A)	7	10	7	5	6			
		入学定員(B)	8	8	8	8	8			
		A/B*100	87.5	125.0	87.5	62.5	75.0			
研究科合計	志願者	37	34	27	22	20	97.5			
	合格者	21	18	21	16	11				
	入学者(A)	18	16	19	16	9				
	入学定員(B)	16	16	16	16	16				
	A/B*100	112.5	100.0	118.8	100.0	56.3				

- [注] 1 博士課程前期(修士)課程、博士課程後期(博士)課程、一貫制、専門職大学院のそれぞれの課程ごとに記入してください。
- 2 法科大学院については、(表18-4)に記入してください。
- 3 「その他」欄には上記の表に該当しない入試の状況を記入してください。その際、該当する入試の名称を( )内に記入してください。ただし、相当数の学生(約一割以上)を入学させている入試方法がある場合は、「その他」に含めず適宜欄を設けて記入してください。なお、該当しない入試方法の欄は削除してください。
- 4 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。
- 5 入試の種類ごとに「入学定員に対する入学者」の割合を算出してください。
- 6 「課程」「専攻」「研究科」「大学院」の各計について、「入学定員に対する入学者数の比率(2004～2008年平均)」欄に、5カ年の「入学定員に対する入学者」の割合を合計し、5で除した数値を記入してください。

\* 表13の注にならい、各入学(募集)定員が若干名の場合は「0」として記入した。

(表18-3)

研究科名	専攻名		入試の種類		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	入学定員に対する入学 者数の比率(2004～ 2008年平均)
文化政策学 研究科	文化政策学 専攻	博士前期 課程	一般入試	志願者	9	8	6	1	3	
				合格者	9	6	5	1	1	
				入学者(A)	8	5	5	1	1	
				入学定員(B)	0	0	0	0	0	
				A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
			社会人入試	志願者	13	8	7	7	2	
				合格者	12	8	4	6	2	
				入学者(A)	11	7	2	6	2	
				入学定員(B)	0	0	0	0	0	
				A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		留学生入試	志願者	4	3	0	0	1		
			合格者	3	3	0	0	1		
			入学者(A)	2	2	0	0	1		
			入学定員(B)	0	0	0	0	0		
			A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
		その他 (学内進学制度)	志願者	3	7	0	—	—		
			合格者	3	7	0	—	—		
			入学者(A)	3	7	0	—	—		
			入学定員(B)	0	0	0	—	—		
			A/B*100	0.0	0.0	0.0	—	—		
課 程 計	志願者	29	26	13	8	6				
	合格者	27	24	9	7	4				
	入学者(A)	24	21	7	7	4				
	入学定員(B)	20	20	20	20	20				
	A/B*100	120.0	105.0	35.0	35.0	20.0				
文化政策学 研究科	文化政策学 専攻	博士後期 課程	一般入試	志願者	1	7	4	3	0	
				合格者	1	6	4	3	0	
				入学者(A)	1	6	4	3	0	
				入学定員(B)	0	0	0	0	0	
				A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
			社会人入試	志願者	4	1	5	0	0	
				合格者	4	1	5	0	0	
				入学者(A)	4	1	3	0	0	
				入学定員(B)	0	0	0	0	0	
				A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		留学生入試	志願者	1	0	0	0	0		
			合格者	1	0	0	0	0		
			入学者(A)	0	0	0	0	0		
			入学定員(B)	0	0	0	0	0		
			A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

(表18-3)

研究科名	専攻名	入試の種類		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	入学定員に対する入学者数の比率(2004～2008年平均)
	課程計	志願者		6	8	9	3	0	88.0
		合格者		6	7	9	3	0	
		入学者(A)		5	7	7	3	0	
		入学定員(B)		5	5	5	5	5	
		A/B*100		100.0	140.0	140.0	60.0	0.0	
	専攻計	志願者		35	34	22	11	6	68.0
		合格者		33	31	18	10	4	
		入学者(A)		29	28	14	10	4	
		入学定員(B)		25	25	25	25	25	
		A/B*100		116.0	112.0	56.0	40.0	16.0	
研究科合計	志願者		35	34	22	11	6	68.0	
	合格者		33	31	18	10	4		
	入学者(A)		29	28	14	10	4		
	入学定員(B)		25	25	25	25	25		
	A/B*100		116.0	112.0	56.0	40.0	16.0		

[注] 1 博士課程前期(修士)課程、博士課程後期(博士)課程、一貫制、専門職大学院のそれぞれの課程ごとに記入してください。

2 法科大学院については、(表18-4)に記入してください。

3 「その他」欄には上記の表に該当しない入試の状況を記入してください。その際、該当する入試の名称を( )内に記入してください。ただし、相当数の学生(約一割以上)を入学させている入試方法がある場合は、「その他」に含めず適宜欄を設けて記入してください。なお、該当しない入試方法の欄は削除してください。

4 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。

5 入試の種類ごとに「入学定員に対する入学者」の割合を算出してください。

6 「課程」「専攻」「研究科」「大学院」の各計について、「入学定員に対する入学者数の比率(2004～2008年平均)」欄に、5カ年の「入学定員に対する入学者」の割合を合計し、5で除した数値を記入してください。

\* 表13の注にならい、各入学(募集)定員が若干名の場合は「0」として記入した。

(表18-3)

研究科名	専攻名		入試の種類		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	入学定員に対する入学者数の比率(2004～2008年平均)
看護学研究科 ※2008年4月開設	看護学研究科	修士課程	一般入試	志願者	—	—	—	—	17	90.0
				合格者	—	—	—	—	9	
				入学者(A)	—	—	—	—	9	
				入学定員(B)	—	—	—	—	10	
				A/B*100	—	—	—	—	90.0	
		課程計	志願者	—	—	—	—	17	90.0	
			合格者	—	—	—	—	9		
			入学者(A)	—	—	—	—	9		
			入学定員(B)	—	—	—	—	10		
			A/B*100	—	—	—	—	90.0		
	専攻計	志願者	—	—	—	—	17	90.0		
		合格者	—	—	—	—	9			
		入学者(A)	—	—	—	—	9			
		入学定員(B)	—	—	—	—	10			
		A/B*100	—	—	—	—	90.0			
研究科合計	志願者	—	—	—	—	17	90.0			
	合格者	—	—	—	—	9				
	入学者(A)	—	—	—	—	9				
	入学定員(B)	—	—	—	—	10				
	A/B*100	—	—	—	—	90.0				
大学院合計	志願者	72	68	49	33	43	81.8			
	合格者	54	49	39	26	24				
	入学者(A)	47	44	33	26	22				
	入学定員(B)	41	41	41	41	51				
	A/B*100	114.6	107.3	80.5	63.4	43.1				

- [注] 1 博士課程前期(修士)課程、博士課程後期(博士)課程、一貫制、専門職大学院のそれぞれの課程ごとに記入してください。
- 2 法科大学院については、(表18-4)に記入してください。
- 3 「その他」欄には上記の表に該当しない入試の状況を記入してください。その際、該当する入試の名称を( )内に記入してください。ただし、相当数の学生(約一割以上)を入学させている入試方法がある場合は、「その他」に含めず適宜欄を設けて記入してください。なお、該当しない入試方法の欄は削除してください。
- 4 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。
- 5 入試の種類ごとに「入学定員に対する入学者」の割合を算出してください。
- 6 「課程」「専攻」「研究科」「大学院」の各計について、「入学定員に対する入学者数の比率(2004～2008年平均)」欄に、5カ年の「入学定員に対する入学者」の割合を合計し、5で除した数値を記入してください。

## 8 法科大学院の志願者・合格者・入学者数の推移(表18-4)

該当なし

IV 教員組織

1-1 全学の教員組織

(表19)

学部・学科、研究科・専攻、研究所等		専任教員数										助手	備考
		教授		准教授		講師		助教		計			
			特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		
文学部	英語コミュニケーション学科	4	0	1	1	2	2	0	0	7	3	0	
	日本語日本文学科	6	0	1	0	0	0	0	0	7	0	0	
	歴史学科	9	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	
	文化財学科	5	0	1	0	0	0	0	0	6	0	0	
	児童教育学科	8	0	3	0	2	1	0	0	13	1	0	
文学部 計		32	0	6	1	4	3	0	0	42	4	0	
現代ビジネス学部	現代マネジメント学科	7	0	3	0	0	0	2	1	12	1	0	
	都市環境デザイン学科	13	0	2	0	1	0	1	1	17	1	0	
現代ビジネス学部 計		20	0	5	0	1	0	3	2	29	2	0	
看護学部	看護学科	9	0	7	0	6	0	0	0	22	0	17	
看護学部 計		9	0	7	0	6	0	0	0	22	0	17	
文学研究科	言語文化専攻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	歴史学・文化財学専攻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
文学研究科 計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
文化政策学研究科	文化政策学専攻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
文化政策学研究科 計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
看護学研究科	看護学専攻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
看護学研究科 計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(その他の組織)													
言語教育センター		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
看護教育研修センター		0	0	1	0	1	1	0	0	2	1	0	
女性歴史文化研究所		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
文化政策研究センター		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
看護実践異文化国際研究センター		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
教育保育支援センター		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		61	0	19	1	12	4	3	2	95	7	17	

- [注] 1 全学の専任教員について、学部、大学院研究科、専門職大学院、研究所等、各所属組織ごとに記載してください。
- 2 専門職大学院については、該当する研究科（または専攻名）の後に「（専門職）」と付記してください。
- 3 教育組織と教員組織が異なる場合は、専任教員が在籍しなくても、まず教育組織を記載し、その後に教員組織を記載し、当該教員組織に専任教員数を記入してください(次ページ記入例参照)。
- 4 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等を担当する独立の組織がある場合には、「(その他の組織)」欄に、その名称を記載し、専任教員数を記入してください。
- 5 本表においては、大学設置基準第11条にいう「授業を担当しない教員」についても、専任教員数に含めて記入してください。
- 6 「大学の教員等の任期に関する法律」に基づく任期制教員を除き、特任教授、客員教授など任用期間のある教員については、専任者（教育研究条件等において専任教員と同等の者）のみを「専任教員数」の欄の「教授」「准教授」「講師」「助教」の該当する欄（左側）に含めて記入するとともに、その数を「特任等(内数)」欄に内数で示してください。専任者以外の特任者等については記入しないでください。
- 7 「専任教員数」欄については、本表内では1人の専任教員を複数の組織に重複して記入しないでください。



1-2 学部の教員組織

(表19-2)

学部・学科等		専任教員数										助手	設置基準上必要専任教員数	専任教員1人当たりの在籍学生数(表14(B)/計(A))	兼任教員数	備考
		教授		准教授		講師		助教		計(A)						
			特任等(内数)		特任等(内数)		特任等(内数)		特任等(内数)		特任等(内数)					
文学部	英語コミュニケーション学科	4	0	1	1	2	2	0	0	7	3	0	5	33.9	117	TA:9
	日本語日本文学科	6	0	1	0	0	0	0	0	7	0	0	6			
	歴史学科	9	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	6			
	文化財学科	5	0	1	0	0	0	0	0	6	0	0	6			
	児童教育学科	8	0	3	0	2	1	0	0	13	1	0	6			
文学部 計		32	0	6	1	4	3	0	0	42	4	0	29		117	
現代ビジネス学部	現代マネジメント学科	7	0	3	0	0	0	2	1	12	1	0	10	32.9	86	TA:6
	都市環境デザイン学科	13	0	2	0	1	0	1	1	17	1	0	10			
現代ビジネス学部 計		20	0	5	0	1	0	3	2	29	2	0	20		86	
看護学部	看護学科	9	0	7	0	6	0	0	0	22	0	17	12	17.6	58	58
看護学部 計		9	0	7	0	6	0	0	0	22	0	17	12			
大学全体の収容定員に応じ定める専任教員数													27			
合計		61	0	18	1	11	3	3	2	93	6	17	88		261	

- [注] 1 「専任教員数」については、(表19)のうち、学部教育を担当する専任教員について作表してください。
- 2 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等の学部教育を担当する独立の組織がある場合には、「(その他の学部教育担当組織)」欄に、その名称を記載し、専任教員数を記入してください。
- 3 「専任教員数」欄には、大学院研究科等の専任で、その研究科の基礎となる学部・学科等においても専任として授業を担当している教員数も含めて記入してください。その場合、(表19-3)及び(表19-4)の専任教員が、本表においても専任教員に算入されます。たとえば、大学院研究科に専任教員が配置され、学部教育が専ら研究科の専任教員によって行われている場合がこの典型的な例です。
- 4 教育組織と教員組織が異なる場合も、大学設置基準における必要専任教員数に留意して、学部教育担当専任教員数を適切に記入してください。
- 5 当該学部・学科の専任であっても、大学設置基準第11条にいう「授業を担当しない教員」については、専任教員数には含めないでください。
- 6 「大学の教員等の任期に関する法律」に基づく任期制教員を除き、特任教授、客員教授など任用期間のある教員については、専任者(研究条件等において専任教員と同等の者)のみを「専任教員数」欄の「教授」「准教授」「講師」「助教」の該当する欄(左側)に含めて記入するとともに、その数を「特任等(内数)」欄に内数で示してください。専任者以外の特任者等については「兼任教員数」欄に含めて記入してください。
- 7 「専任教員数」欄については、本表内では1人の専任教員を複数の組織に重複記入しないでください。
- 8 「兼任教員数」欄には、学外からのいわゆる非常勤教員数を記入してください。併設短期大学からの兼務者も「兼任教員数」の欄に含めてください。なお、国立大学所属教員については、「兼任」「兼任」を共に「併任」としている場合もありますが、学外からの併任者は「兼任教員数」欄に記入してください。
- 同一の兼任教員が複数の学科を担当する場合は、それぞれ記入してください(重複可)。大学の状況によっては、兼任教員数の欄は学科ごとではなく学部全体で記述しても結構です。
- 9 「設置基準上必要専任教員数」欄には、大学設置基準別表第一、第二をもとに算出した数値を記入してください。同表に基づかない算出方法により設置認可を得ている場合にはその数値を記入するとともに備考欄にその旨を記述してください。
- 10 「助手」欄には、大学院研究科等の専任で学部の業務にも従事している助手数も含めて記入してください。
- 11 専任教務補助員(例えば、いわゆる副手、実験補助員等)、ティーチング・アシスタント(TA)、リサーチ・アシスタント(RA)については、「備考」欄にその各々の名称と人数を記入してください。

1-3 大学院研究科の教員組織（専門職大学院を除く）

(表19-3)

研究科・専攻	専任教員数										助手	専任教員のうち		設置基準上必要専任教員数		兼任教員数	備考
	教授		准教授		講師		助教		計			研究指導教員数	研究指導補助教員数	研究指導教員数	研究指導補助教員数		
	特任等(内数)		特任等(内数)		特任等(内数)		特任等(内数)		特任等(内数)								
文学研究科	言語文化専攻 修士課程	8	0	1	0	0	0	0	0	9	0	0	7(6)	1(1)	3(2)	2	4
	歴史学・文化財学専攻 博士前期課程	12	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	9(9)	1(1)	4(3)	3	
	歴史学・文化財学専攻 博士後期課程	7	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	5(5)	2(2)	4(3)	3	
文化政策学研究科	文化政策学専攻 博士前期課程	18	0	1	0	0	0	0	0	19	0	0	14(14)	3(2)	5(4)	4	1
	文化政策学専攻 博士後期課程	10	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	7(7)	3(3)	5(4)	4	
看護学研究科	看護学専攻 修士課程	9	0	7	0	0	0	0	0	16	0	1	8(7)	5(2)	6(4)	6	8
合計		64	0	9	0	0	0	0	0	73	0	1	50(48)	15(11)	27(20)	22	13

( ) 内は教授の数を内数で示す。

- [注] 1 専任教員については、(表19)のうち、大学院研究科の教育を担当する専任教員について専攻、課程ごとに記入してください。
- 2 専門職大学院については、既存の研究科の1専攻として置かれている場合であっても、次表(表19-4)により別に作表してください。
- 3 「専任教員数」欄には、学部・学科等の専任で、たとえば、その学部・学科等に基礎を置く当該研究科・専攻等においても専任として授業を担当している常勤教員数も含めて記入してください。その場合、前表(19-2)の専任教員が、本表にも専任教員に算入されます。
- 4 教育組織と教員組織が異なる場合も、大学院設置基準等における必要専任教員数に留意して大学院研究科の教育を担当する専任教員数を適切に記入してください。
- 5 「大学の教員等の任期に関する法律」に基づく任期制教員を除き、特任教授、客員教授など任用期間のある教員については、専任者(研究条件等において専任教員と同等の者)のみを「専任教員数」の欄の「教授」「准教授」「講師」「助教」の該当する欄(左側)に含めて記入するとともに、その数を「特任等(内数)」欄に内数で示してください。専任者以外の特任者等については「兼任教員数」欄に含めて記入してください。
- 6 「研究指導教員」とは、大学院設置基準第9条第1項各号に掲げる資格を有する教員を指し、「研究指導補助教員」とは、研究指導の補助を行い得る教員を指します。
- 7 「研究指導教員数」欄の( )には、教授の数を内数で記入してください。
- 8 「専任教員数」欄については、本表内では1人の専任教員を同一の課程に重複して算入しないでください。1人の専任教員を修士課程と博士課程の両課程においてそれぞれ1専攻に限り専任とすることはできますが、どちらか一方の課程において、複数の専攻の専任とすることはできませんので、留意してください。
- 9 「兼任教員数」欄には、学外からのいわゆる非常勤教員数を記入してください。なお、国立大学所属教員については、「兼任」「兼任」を共に「併任」としている場合もありますが、学外からの併任者は「兼任教員数」欄に記入してください。  
同一の兼任教員が複数の学科を担当する場合は、それぞれ記入してください(重複可)。大学の状況によっては、兼任教員数の欄は専攻ごとではなく研究科全体で記入しても結構です。
- 10 「設置基準上必要専任教員数」欄には、「大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件」(平成11年文部省告示 第175号)により算出した数値を記入してください。同表に基づかない算出方法により設置認可を得ている場合にはその数値を記入するとともに備考欄にその旨を記述してください。
- 11 「助手」欄には、学部・学科等の専任で大学院研究科の業務にも従事している助手数も含めて記入してください。
- 12 専任教務補助員(例えば、いわゆる副手、実験補助員等)、ティーチング・アシスタント(TA)、リサーチ・アシスタント(RA)については、「備考」欄にその各々の名称と人数を記入してください。

1-4 専門職大学院の教員組織(表19-4)

該当なし

1-5 事務組織

(表19-5)

	部署名	専任職員		常勤嘱託職員	兼務職員	派遣職員	その他	計
			うち管理職					
法人業務系	法人事務局	1	1	0	0	0	0	1
	総務課	1	1	0	0	0	0	1
	経理課	1	1	0	0	0	0	1
	企画広報課	1	1	0	0	0	0	1
	小計	4	4	0	0	0	0	4
	計	4	4	0	0	0	0	4
大学業務系	大学事務局	1	1	0	0	0	0	1
	総務課	4	0	1	6	0	0	11
	経理課	2	0	0	2	0	0	4
	企画広報課	2	0	0	2	0	0	4
	教務課	8	1	0	4	2	0	14
	学生支援課	3	1	0	4	0	0	7
	就職進路課	4	1	2	2	0	0	8
	入学課	4	1	0	3	0	0	7
	学術情報課	3	1	0	10	1	0	14
	小計	31	6	3	33	3	0	70
計	31	6	3	33	3	0	70	
合計		35	10	3	33	3	0	74

[注] 1 それぞれの部署について、業務の内容から「法人業務系」と「大学業務系」に大別して記載してください。

2 「専任職員」欄には、期間の定めのない雇用で、常時勤務している職員数を、「常勤嘱託職員」欄には、期間の定めはあるが、専任職員に準じた雇用形態をとっている職員数を、「兼務職員」欄には、雇用期間が6カ月以上の職員数を、「派遣職員」欄には、労働者派遣契約を締結することにより受け入れている職員数をそれぞれ記入してください。

なお、いずれにも該当しない職員については、「その他」欄に記入してください。

3 部長・次長など「課」に属さない職員は、「部」でまとめて記入してください。

4 部単位に「小計」、各系ごとに「計」を入れ、それぞれ集計してください。

5 「助手」は、「教員組織」(表19～表19-4)に記入してください。

2 専任教員個別表 (表20)

省略しました。

3 専任教員年齢構成

(表21)

学部・研究科	職位	71歳 以上	66歳～ 70歳	61歳～ 65歳	56歳～ 60歳	51歳～ 55歳	46歳～ 50歳	41歳～ 45歳	36歳～ 40歳	31歳～ 35歳	26歳～ 30歳	25歳 以下	計
文学部	教授	0 0.0%	4 12.5%	4 12.5%	8 25.0%	8 25.0%	6 18.8%	2 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	32 100.0%
	准教授	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%
	専任講師	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	助教	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	学部計	0 0.0%	4 9.5%	4 9.5%	8 19.0%	9 21.4%	10 23.8%	4 9.5%	3 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	42 100.0%
現代ビジネス 学	教授	1 5.0%	3 15.0%	7 35.0%	3 15.0%	6 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	20 100.0%
	准教授	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	専任講師	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
	助教	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	3 100.0%
	学部計	1 3.4%	3 10.3%	7 24.1%	3 10.3%	7 24.1%	1 3.4%	2 6.9%	4 13.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.4%	29 100.0%
看護学部	教授	1 11.1%	6 66.7%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%
	准教授	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%	4 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%
	専任講師	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	3 50.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%
	助教	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	学部計	1 4.5%	6 27.3%	0 0.0%	3 13.6%	2 9.1%	2 9.1%	7 31.8%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	22 100.0%
大学合計		2 2.2%	13 14.0%	11 11.8%	14 15.1%	18 19.4%	13 14.0%	13 14.0%	8 8.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%	93 100.0%
定年65歳 ただし、特任教授、特契教授は定 年70歳													

[注] 1 「IV 1 全学の教員組織」(表19)中、学部、大学院研究科(及びその他の組織)に記載の専任教員について、所属組織ごとに作成してください。ただし、教養教育担当者が学部に分属しているものの教養教育は全学共通で行っている場合は、その教員数を学部から除き、教養教育担当者の表を学部準じて別個に作成してください。

2 各欄の下段にはそれぞれ「計」欄の数値に対する割合を記入してください。

4 専任教員の担当授業時間

文学部 (42人)

(表22)

区分 \ 教員	教授	准教授	講師	助教	備考
最高	14.5 授業時間	16.0 授業時間	14.0 授業時間	—	1 授業時間 45分
最低	3.1 授業時間	10.0 授業時間	12.0 授業時間	—	
平均	11.0 授業時間	12.2 授業時間	13.5 授業時間	—	
責任授業時間数	(12.0 授業時間)	(12.0 授業時間)	(12.0 授業時間)	(12.0 授業時間)	

- [注] 1 「IV 1 全学の教員組織」(表19)中、学部、大学院研究科(及びその他の組織)に記載の専任教員について、所属組織ごとに作成してください。
- 2 「IV 2 専任教員個別表」(表20)で算出した年間平均毎週授業時間数をもとに、専任教員が当該大学において担当する1週間の最高、最低及び総平均授業時間を記載してください。
- 3 「備考」欄に1授業時間が何分であるかを記入してください。ここでいう授業時間とはいわゆるコマではないので、1コマ90分の場合は、45分と記入してください。
- 4 専任の教授、准教授、講師、助教の1週間の責任授業時間数等の規定が無い場合は、「責任授業時間数」欄には「—」を記入してください。
- 5 担当授業時間が特に多い教員、または特に少ない教員がいる場合は、その理由を欄外に付記してください。
- 6 開設されてはいるものの、履修者のいない科目についても上表に含めること。

区分	教 員	教 授	准 教 授	講 師	助 教	備 考
最 高		14.6 授業時間	13.0 授業時間	12.0 授業時間	12.0 授業時間	1 授業時間 45分
最 低		2.0 授業時間(*)	12.0 授業時間	12.0 授業時間	6.0 授業時間	*学年進行中のカリキュラム(都市環境デザイン学科)を担当しており、まだ1回生しか在籍していないため、授業時間が特に少ない教授がいる。
平 均		11.5 授業時間	12.3 授業時間	12.0 授業時間	8.7 授業時間	
責任授業時間数		(12.0 授業時間 )	(12.0 授業時間 )	(12.0 授業時間 )	(12.0 授業時間 )	

- [注] 1 「IV 1 全学の教員組織」(表19)中、学部、大学院研究科(及びその他の組織)に記載の専任教員について、所属組織ごとに作成してください。
- 2 「IV 2 専任教員個別表」(表20)で算出した年間平均毎週授業時間数をもとに、専任教員が当該大学において担当する1週間の最高、最低及び総平均授業時間を記載してください。
- 3 「備考」欄に1授業時間が何分であるかを記入してください。ここでいう授業時間とはいわゆるコマではないので、1コマ90分の場合は、45分と記入してください。
- 4 専任の教授、准教授、講師、助教の1週間の責任授業時間数等の規定が無い場合は、「責任授業時間数」欄には「-」を記入してください。
- 5 担当授業時間が特に多い教員、または特に少ない教員がいる場合は、その理由を欄外に付記してください。
- 6 開設されてはいるものの、履修者のいない科目についても上表に含めること。

区分 \ 教員	教授	准教授	講師	助教	備考
最高	20.1 授業時間	18.4 授業時間	13.5 授業時間	—	1 授業時間 45分 「最高」と「最低」について、休職中の教員は計算から除外した。
最低	9.0 授業時間	10.0 授業時間	3.0 授業時間	—	
平均	12.0 授業時間	13.9 授業時間	6.9 授業時間	—	
責任授業時間数	(12.0 授業時間)	(12.0 授業時間)	(12.0 授業時間)	(12.0 授業時間)	

- [注] 1 「IV 1 全学の教員組織」（表19）中、学部、大学院研究科（及びその他の組織）に記載の専任教員について、所属組織ごとに作成してください。
- 2 「IV 2 専任教員個別表」（表20）で算出した年間平均毎週授業時間数をもとに、専任教員が当該大学において担当する1週間の最高、最低及び総平均授業時間を記載してください。
- 3 「備考」欄に1授業時間が何分であるかを記入してください。ここでいう授業時間とはいわゆるコマではないので、1コマ90分の場合は、45分と記入してください。
- 4 専任の教授、准教授、講師、助教の1週間の責任授業時間数等の規定が無い場合は、「責任授業時間数」欄には「—」を記入してください。
- 5 担当授業時間が特に多い教員、または特に少ない教員がいる場合は、その理由を欄外に付記してください。
- 6 開設されてはいるものの、履修者のいない科目についても上表に含めること。

5 専任教員の給与（表23）

省略しました。

V 研究活動と研究環境

1 専任教員の教育・研究業績（表24）

省略しました。

2 専任教員の教育・研究業績（芸術分野や体育実技等の分野を担当する教員）（表25）

省略しました。



## 3 専任教員の研究費

(表29)

学部・研究科等	総額 (A)	総額 (B) (除、講座・研究室等 の共同研究費)	専任教員数 (C)	教員1人 当たりの額 ① (A/C)	教員1人 当たりの額 ② (B/C)	備 考
文学部	12,323,077	11,845,704	40	308,076.9	296,142.6	
文化政策学部	7,655,489	7,455,921	22	347,976.8	338,905.5	
看護学部	7,219,995	7,134,837	22	328,181.6	324,310.8	
看護教育研修センター	248,593	248,593	2	124,296.5	124,296.5	
計	27,447,154	26,685,055	86	319,153.0	310,291.3	

[注] 1 2007年度の実績をもとに作表してください。したがって「専任教員数」欄にも、2007年度の人数（助手を除く）を記入してください。

- 2 研究費総額 (A) には、学科、研究室等ごとに支給される研究費も含めて記入してください。ただし、間接経費（水道光熱費、人件費等）は除いてください。また、競争的な研究費も含めないでください。
- 3 研究費総額 (B) には、講座研究費、個人研究費等の名称は問わず、教員個人が専らその研究の用に充てるために支給される経常的経費（図書購入費、機器備品費、研究用消耗品費、アルバイトなどへの謝金等）を記入してください。
- 4 本表における専任教員数は、(表34) と一致します。

## 4 専任教員の研究旅費

(表30)

学部・研究科等		国外留学		国内留学		学会等出張旅費		備 考
		長期	短期	長期	短期	国外	国内	
文学部	総 額	0	0	0	691,760	577,006	3,763,481	<b>■国際研究集会等報告者助成費</b> 国際研究集会（国外開催）において、研究発表等のため海外出張する本学専任教員（任期制教員除く）に旅費として交付。上限は一件につき年間20万円。 <b>■個人研究旅費</b> 教員一人あたり年額15万円。ただし、年額30万円の個人研究費と区分間利用が可能であるため、最大で45万円を個人研究旅費として使用できる。 <b>■学外研究費</b> 国外留学は、6ヵ月未満の場合、在職3年以上、満55歳以下が支給条件。6ヵ月以上の場合、在職5年以上、満50歳以下が支給条件。国内留学は、在職3年以上、満55歳以下が支給条件。上限は国外留学6ヵ月未満の場合130万円、6ヵ月以上の場合250万円、国内留学の場合80万円。
	支 給 件 数	0	0	0	1	5	111	
文化政策学部	総 額	0	0	0	0	0	2,011,927	
	支 給 件 数	0	0	0	0	0	76	
看護学部	総 額	0	0	0	0	114,350	1,935,016	
	支 給 件 数	0	0	0	0	1	46	
看護教育研修センター	総 額	0	0	0	0	0	250,920	
	支 給 件 数	0	0	0	0	0	7	
計	総 額	0	0	0	691,760	691,356	7,961,344	
	支 給 件 数	0	0	0	1	6	240	

[注] 1 2007年度の実績をもとに作表してください。

2 教員研究旅費には、前表「3 専任教員の研究費（実績）」（表29）は含めないでください。

3 それぞれの研究旅費の支給条件（例えば、受給資格、支給額の上限等）を備考欄に注記してください。

4 留学の「長期」とは、1年以上のものをいい、1年未満を「短期」とします。

## 5 学内共同研究費

(表31)

大学・学部・大学院研究科等	総 額	利用件数	備 考
文学部	781,433	1	
文化政策学部	787,862	1	研究メンバーが複数学部にわたる。本表では研究代表者の所属学部計上
看護学部	0	0	
看護教育研修センター	0	0	
計	1,569,295	2	

- [注] 1 2007年度の実績を記入してください。
- 2 ここでいう「学内共同研究費」とは、予算上措置されている研究費で、個人研究・共同研究を問わず、申請に基づき審査を経て交付される競争的な研究費（いわゆる学内科研費）を指します。
- 3 研究費に旅費が含まれている場合、これを除く必要はありません。
- 4 総額の合計は、教員研究費内訳（表32）中の学内共同研究費の合計と一致します。

## 6 教員研究費内訳

(表32)

学部・研究科等	研究費の内訳	2005年度		2006年度		2007年度		
		研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	
文学部	研究費総額	24,341,951	100.0	21,549,314	100.0	20,606,757	100	
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	14,677,141	60.3	13,268,168	61.6	17,355,324	84.2
		学内共同研究費	564,810	2.3	781,146	3.6	781,433	3.8
		その他	—	—	—	—	—	—
	学外	科学研究費補助金	9,100,000	37.4	7,500,000	34.8	2,470,000	12.0
		政府もしくは政府関連法人からの研究助成金	0	0	0	0	0	0
		民間の研究助成財団等からの研究助成金	0	0	0	0	0	0
		奨学寄附金	0	0	0	0	0	0
		受託研究費	0	0	0	0	0	0
		共同研究費	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0

[注] 1 学内研究費の「その他」欄には、(表29)の(A)+(表30)の計、経常研究費、(表31)という学内共同研究費以外に該当するものがある場合は記入してください。

(表32)

学部・研究科等	研究費の内訳	2005年度		2006年度		2007年度		
		研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	
文化政策学部	研究費総額	20,622,437	100.0	18,225,367	100.0	22,715,278	100.0	
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	13,288,471	64.4	10,737,676	58.9	9,667,416	42.6
		学内共同研究費	1,357,716	6.6	787,691	4.3	787,862	3.5
		その他	—	—	—	—	—	—
	学外	科学研究費補助金	4,800,000	23.3	6,700,000	36.8	5,860,000	25.8
		政府もしくは政府関連法人からの研究助成金	0	0	0	0	0	0
		民間の研究助成財団等からの研究助成金	0	0	0	0	0	0
		奨学寄附金	0	0	0	0	0	0
		受託研究費	1,176,250	5.7	0	0	6,400,000	28.2
		共同研究費	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0

[注] 1 学内研究費の「その他」欄には、(表29)の(A)+(表30)の計、経常研究費、(表31)でいう学内共同研究費以外に該当するものがある場合は記入してください。

(表32)

学部・研究科等	研究費の内訳	2005年度		2006年度		2007年度		
		研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	
看護学部	研究費総額	9,475,325	100.0	9,102,568	100.0	22,479,361	100.0	
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	6,775,325	71.5	8,402,568	92.3	9,269,361	41.2
		学内共同研究費	0	0	0	0	0	0
		その他	—	—	—	—	—	—
	学外	科学研究費補助金	1,900,000	20.1	700,000	7.7	13,210,000	58.8
		政府もしくは政府関連法人からの研究助成金	0	0	0	0	0	0
		民間の研究助成財団等からの研究助成金	0	0	0	0	0	0
		奨学寄附金	0	0	0	0	0	0
		受託研究費	800,000	8.4	0	0	0	0
		共同研究費	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0

[注] 1 学内研究費の「その他」欄には、(表29)の(A)+(表30)の計、経常研究費、(表31)という学内共同研究費以外に該当するものがある場合は記入してください。

(表32)

学部・研究科等	研究費の内訳	2005年度		2006年度		2007年度		
		研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	
看護教育研修センター	研究費総額	—	—	60,840	100.0	499,513	100.0	
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	—	—	60,840	100.0	499,513	100.0
		学内共同研究費	—	—	0	0	0	0
		その他	—	—	—	—	—	—
	学外	科学研究費補助金	—	—	0	0	0	0
		政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金	—	—	0	0	0	0
		民間の研究助成財団 等からの研究助成金	—	—	0	0	0	0
		奨学寄附金	—	—	0	0	0	0
		受託研究費	—	—	0	0	0	0
		共同研究費	—	—	0	0	0	0
		その他	—	—	0	0	0	0

[注] 1 学内研究費の「その他」欄には、(表29)の(A)+(表30)の計、経常研究費、(表31)という学内共同研究費以外に該当するものがある場合は記入してください。

## 7 科学研究費の採択状況

(表33)

学部・研究科等	科 学 研 究 費								
	2005年度			2006年度			2007年度		
	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100
文学部	1	0	0.0	3	0	0.0	5	1	20.0
文化政策学部	4	2	50.0	6	2	33.3	2	0	0.0
看護学部	0	0	0.0	14	0	0.0	12	3	25.0
看護教育研修センター	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
計	5	2	40.0	23	2	8.7	19	4	21.1

- [注] 1 教員、助手が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入してください。  
 2 採択件数には、当該年度新規に採択された件数のみをあげ、前年度からの継続分は含めないでください。



## 8 学外からの研究費

(表34)

学部・研究科等	専任 教員数	科学研究費補助金		その他の学外研究費		合 計 (A+B)
		科学研究費補 助金総額 (A)	うちオーバー ヘッドの額	その他の学外研究 費総額 (B)	うちオーバー ヘッドの額	
文学部	40	2,470,000	570,000	0	0	2,470,000
文化政策学部	22	5,860,000	660,000	6,400,000	582,153	12,260,000
看護学部	22	13,210,000	2,910,000	0	0	13,210,000
看護教育研修センター	2	0	0	0	0	0
合 計	86	21,540,000	4,140,000	6,400,000	582,153	27,940,000

- [注] 1 教員が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入してください。
- 2 2007年度の実績をもとに作表してください。したがって「専任教員数」欄にも、2007年度の人数を記入してください。
- 3 「その他の学外研究費」には、科研費以外の政府もしくは政府関連法人からの研究助成金、民間の研究助成財団等からの研究助成金、奨学寄付金、受託研究費、共同研究費などが該当します。
- 4 本表における専任教員数は、2007年度の教員数であり、(表29)及び(表30)と一致します。

## 9 教員研究室

(表35)

学 部 研究科	室 数			総面積 (㎡)	1室当たりの平均面積 (㎡)		専任教員数 (B)	個室率 (%) (A/B*100)	教員1人当たりの平均面積 (㎡)	備 考
	個室(A)	共 同	計		個 室	共 同				
文学部	46	1	47	1,073	21.0	107	42	100	21.7	4名 (*)
現代ビジネス学部	29	0	29	712	24.6	—	29	100	24.6	
看護学部	23	0	23	636	27.7	—	22	100	27.6	
看護教育研修センター	0	1	1	69	—	69	2	0	34.5	
計	98	2	100	2,490	23.6	88	95	100	24.2	

- [注] 1 「室数」「総面積」欄には、学部、大学院研究科等の保有する全ての教員研究室について記入してください。  
 2 「1室当たりの平均面積」は全ての教員研究室について、「教員1人当たりの平均面積」は学部、大学院研究科等の専任教員が実際に使用している教員研究室について算出してください。  
 3 「個室率」の算出にあたっては、個室数が専任教員数を上回る場合は、原則として100%と記入してください。  
 4 個室を持たない教員については、「備考」欄にその数を記入してください。

\* 英語コミュニケーション学科の教員3名と児童教育学科の教員1名は、言語教育センター運営委員も兼務しているため、言語教育センターに机が配置されている。

## VI 施設・設備等

### 1 校地、校舎、講義室・演習室等の面積

(表36)

校 地 ・ 校 舎				講義室・演習室等	
校地面積 (m <sup>2</sup> )	設置基準上必要 校地面積 (m <sup>2</sup> )	校舎面積 (m <sup>2</sup> )	設置基準上必要 校舎面積 (m <sup>2</sup> )	講義室・演習室・ 学生自習室総数	講義室・演習室・ 学生自習室 総面積 (m <sup>2</sup> )
52,263	27,600	28,465	15,105	53	4,823

- [注] 1 校舎面積に算入できる施設としては、講義室、演習室、学生自習室、実験・実習室、研究室、図書館（書庫、閲覧室、事務室）、管理関係施設（学長室、応接室、事務室（含記録庫）、会議室、受付、守衛室、宿直室、倉庫）、学生集会所、食堂、廊下、便所などが挙げられます。
- 2 講堂を講義室に準じて使用している場合は「講義室・演習室・学生自習室」に含めても結構です。
- 3 複数のキャンパスを設置している場合は、キャンパスごとに作表してください。

## 2 主要施設の概況

(表36-2)

施設名	用途	建築年	延床面積(m2)	備考
清和館	講義室、演習室等	1979年	3,371	
体育館	体育施設	1983年	1,903	
図書館・研究室棟	図書館、実習室、演習室、研究室、自習室、事務室等	1986年	4,542	
管理・特別教室棟	実習室、研究室、事務室等	1987年	4,309	
学生会館	食堂、課外活動施設等	1988年	2,981	
清心館	講義室、実習室、情報処理学習室等	1993年	1,719	
清史館	講義室、演習室、実習室、研究室等	1998年	1,015	
清風館	講義室、演習室、実習室、研究室、事務室等	2002年	3,041	
清優館	講義室、演習室、実習室、研究室等	2006年	4,297	
清香館	講義室、演習室等	2006年	1,617	
児優館	講義室、演習室、実習室、研究室等	2007年	2,408	

[注] 1 「財産目録」記載のうち、教育研究活動に使用されている主要な建物について記載してください。

2 上記、施設の大規模な改築や改修計画がある場合は、備考欄にその旨記入してください。

3 学部・研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模

(表37)

学部・研究科等	講義室・演習室 学生自習室等	室数	総面積(m <sup>2</sup> ) (A)	専用・共用 の別	収容人員 (総数)	利用学生 総数(B)	利用学生1人当たり 面積(m <sup>2</sup> ) (A/B)	備考
全学共通	講義室	25	3,137	共用	2,937	2,829	1.11	
	演習室	16	762	共用	408	2,829	0.27	
	学生自習室	1	109	共用	63	2,829	0.04	
文学部	講義室	2	141	専用	96	1,425	0.10	
	演習室	2	94	専用	16	1,425	0.07	
	学生自習室	—	—	—	—	—	—	
現代ビジネス部	講義室	—	—	—	—	—	—	
	演習室	—	—	—	—	—	—	
	学生自習室	—	—	—	—	—	—	
看護学部	講義室	2	291	共用	272	397	0.73	看護学研究科と共用
	演習室	2	138	共用	60	397	0.35	看護学研究科と共用
	学生自習室	—	—	—	—	—	—	
文学化研究政策科	講義室	—	—	—	—	—	—	
	演習室	2	107	専用	56	25		
	学生自習室	—	—	—	—	—	—	
看護研究科	講義室	—	—	—	—	—	—	
	演習室	1	44	専用	24	9		
	学生自習室	—	—	—	—	—	—	
	体育館	7	1,903	共用				
	講堂	—	—	—	—	—	—	

[注] 1 学部、大学院研究科ごとに記載してください。

2 当該施設を複数学部、研究科、短期大学等が共用している場合には、当該学部・大学院研究科専用の施設とは別個に記載し、「専用・共用の別」欄にその旨を明記するとともに、「利用学生総数」欄にも共用する学部、研究科、短期大学等の学生を含めた数値を記入してください。

3 キャンパスごとに施設を共用している場合は、「学部・研究科等」欄にキャンパス名を記入してください。

4 全学で全ての施設を共用している場合は、「学部・研究科等」欄に「全学共通」と記入してください。

5 教養教育のための専用施設がある場合は、学部に準じて記載してください。

6 「利用学生1人当たり面積」は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで記入してください。

7 他学部、研究科等と共用で使用している講義室・演習室等の「利用学生1人当たりの面積」の算出に当たっては、当該施設を利用しているすべての学部、研究科の学生数（短期大学と共用している場合は、短期大学の学生数を含む）で総面積を除いて算出してください。

## 4 学部・研究科ごとの学生用実験・実習室の面積・規模

(表38)

用途別室名	室数	総面積 (㎡)	収容人員 (総数)	収容人員1人当たり の面積(㎡)	使用学部・研究科等	備考
情報処理学習室	5	591	238	2.5	全学共用	
語学学習室	1	69	48	1.4	全学共用	
情報処理・語学学習室	1	116	56	2.1	全学共用	
書道教室	3	277	117	2.4	文学部	
理科実験室	1	111	42	2.6	文学部	
理科準備室	1	15	0	0.0	文学部	(*)
保育実習室	1	64	0	0.0	文学部	(*)
文化財実験室	1	69	0	0.0	文学部	(*)
文化財実習室	1	112	48	2.3	文学部	
多目的教室	1	168	100	1.7	文学部	
調理実習室	1	83	36	2.3	文学部	
調理準備室	1	21	0	0.0	文学部	(*)
図工実習室	1	149	54	2.8	文学部	
図工準備室	1	16	0	0.0	文学部	(*)
音楽室	1	182	70	2.6	文学部	
CAD教室	1	98	40	2.5	現代ビジネス学部	
製図・模型製作実習室	1	139	40	3.5	現代ビジネス学部	
製図実習室	1	127	40	3.2	現代ビジネス学部	
看護実験室	1	103	40	2.6	看護学部、看護学研究科	
看護実験準備室	1	46	0	0.0	看護学部、看護学研究科	(*)
看護実習室	3	735	0	0.0	看護学部、看護学研究科	(*)
看護実習準備室	4	194	0	0.0	看護学部、看護学研究科	(*)
標本室	1	13	0	0.0	看護学部、看護学研究科	(*)
計	34	3,498	969	3.6		

[注] 1 原則として学部・研究科ごとにまとめてください。

2 「用途別室名」欄には、その施設の用途が具体的にわかるような名称を記入してください。

3 当該施設を複数の学部・研究科もしくは併設の短期大学と共用している場合は、その学部名等のすべてを「使用学部・研究科等」欄に記載し、本表において同一施設を重複して記載しないでください。

4 語学学習施設・情報処理学習施設、ビデオ・オーディオルームその他の視聴覚教室施設等も、ここに記入してください。

5 教養教育のための施設については「使用学部・研究科等」欄にその旨記入してください。

6 実習室としての機能を備えているものの、講義室・演習室等としての利用が中心である施設については、前表「3 学部・大学院研究科等ごとの講義室、演習室等の面積・規模」(表37)の講義室・演習室に含めても結構です。その場合は、当該施設の本表での記載に当たっては、「備考」欄に必ず「【再掲】」と記入してください。

7 実験・実習室の主な設備・機器の設置とその更新状況については、点検・評価報告書に記載してください。

\* 座席が設置されていないため、収容人員は0とした。

## 5 学部・研究科ごとの規模別講義室・演習室使用状況一覧表

(表40)

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	総授業時数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
文学部	1 ～ 20	2	239	4	1.7	
	21 ～ 50	23		87	36.4	
	51 ～ 100	23		90	37.7	
	101 ～ 200	6		37	15.5	
	201 ～ 300	3		17	7.1	
	301 ～ 400	1		4	1.7	
文 学 部 小 計	—	58		239	100.0	ベーシックスキル科目・自由学修領域・資格関連科目は除く
現代ビジネス学部	1 ～ 20	3	120	6	5.0	
	21 ～ 50	17		51	42.5	
	51 ～ 100	11		25	20.8	
	101 ～ 200	5		13	10.8	
	201 ～ 300	2		18	15.0	
	301 ～ 400	1		7	5.8	
現代ビジネス学部小計	—	39		120	100.0	ベーシックスキル科目・自由学修領域・資格関連科目は除く
看護学部	1 ～ 20	0	61	0	0.0	
	21 ～ 50	9		14	23.0	
	51 ～ 100	2		2	3.3	
	101 ～ 200	4		40	65.6	
	201 ～ 300	1		4	6.6	
	301 ～ 400	1		1	1.6	
看 護 学 部 小 計	—	17		61	100.0	ベーシックスキル科目・自由学修領域・資格関連科目は除く
文学研究科	1 ～ 20	3	33	5	15.2	
	21 ～ 50	6		17	51.5	
	51 ～ 100	3		5	15.2	
	101 ～ 200	3		6	18.2	
文 学 研 究 科 小 計	—	15		33	100.0	ベーシックスキル科目・自由学修領域・資格関連科目は除く

(表40)

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	総授業時数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
文化政策学研究科	1 ～ 20	1	56	9	16.1	
	21 ～ 50	2		38	67.9	
	51 ～ 100	1		1	1.8	
	101 ～ 200	2		2	3.6	
	201 ～ 300	2		2	3.6	
	301 ～ 400	1		4	7.1	
文化政策学研究科小計	—	9		56	100.0	ベーシックスキル科目・自由学修領域・資格関連科目は除く
看護学研究科	21 ～ 50	6	50	41	82.0	
	51 ～ 100	1		9	18.0	
看護学研究科小計	—	7		50	100.0	ベーシックスキル科目・自由学修領域・資格関連科目は除く

[注] 1 原則として学部ごとに作成してください。

2 使用教室数は、当該学部の正規の授業として使用している教室数を指し、総授業時数とは、1週間の総授業科目のうち、講義室・演習室を使用する全ての授業科目の時間数を示します。なお、使用率は、(使用度数/総授業時数)により算出してください。

3 セメスター制を採用している場合で、使用状況が大きく異なる場合については、セメスターごとに作表してください。



VII 図書館および図書・電子媒体

1 図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況

(表41)

図書館の名称	図書の冊数 (冊)		定期刊行物の種類 (種類)		視聴覚資料 の所蔵数 (点数)	電子ジャー ナルの種類 (種類)	過去3年間の図書受け入れ状況			備 考
	図書の冊数	開架図書の 冊数(内数)	内国書	外国書			2005年度	2006年度	2007年度	
図 書 館	190,719	0	3,435	296	12,566	14	5,313	8,272	6,211	
計	190,719	0	3,435	296	12,566	14	5,313	8,272	6,211	

- [注] 1 雑誌等ですでに製本済みのものは図書の冊数に加えても結構です。  
 2 視聴覚資料には、マイクロフィルム、マイクロフィッシュ、カセットテープ、ビデオテープ、CD・LD・DVD、スライド、映画フィルム、CD-ROM等を含めてください。  
 3 電子ジャーナルが中央図書館で集中管理されている場合は、中央図書館にのみ数値を記入し、備考欄にその旨を注記してください。  
 4 視聴覚資料の所蔵数については、タイトル数を記載してください。

2 図書館利用状況

(表42)

図書館の名称	専任 スタッフ数	非常勤 スタッフ数	年間 開館日数	開館時間	年間利用者数(延べ数)			年間貸し出し冊数			備 考
					2005年度	2006年度	2007年度	2005年度	2006年度	2007年度	
図 書 館	2 (0)	7 (7)	266	月～金 8 :45～20:30	101,241人	95,990人	113,925人	24,698冊	22,310冊	27,642冊	
				土 8 :45～17:15	( )	( )	( )	( )	( )		
				日祭日・閉館	( )	( )	( )	( )	( )		
				長期休暇中 8 :45～17:15	( )	( )	( )	( )	( )		

- [注] 1 スタッフ数は、専任、非常勤ごとに、司書の資格を有するものを（ ）内に内数で記入してください。
- 2 年間利用者数・貸出し冊数には、一般開放による地域住民等の人数や冊数は含めないで、学生及び教職員の利用状況を記入してください。
- 3 「開館時間」に上記以外の時間帯がある場合は、作表してください。
- 4 「年間利用者数(延べ数)」および「年間貸し出し冊数」について、教員・職員・学生の別に内訳を把握している場合は、（ ）内に記入してください。

## 3 学生閲覧室等

(表43)

図書館の名称	学生閲覧室 座席数(A)	学生収容定員 (B)	収容定員に対する 座席数の割合(%) A/B*100	その他の学習室 の座席数 ( )	備 考
図 書 館	269	2,429	11.1	( - )	学部学生 2,330 人 大学院生 99 人
計	269	2,429	11.1	( - )	学部学生 2,330 人 大学院生 99 人

- [注] 1 「学生収容定員」には、学部学生、大学院学生、専攻科、別科の学生収容定員のほか、当該施設を短期大学と共用している場合には、短大の学生収容定員もこの数に加えてください。
- 2 「その他の学習室」の具体的名称を「その他の学習室の座席数」欄のカッコ内に記入一般開放による地域住民等は含めないでください。
- 3 「備考」欄には学生収容定員(B)の内訳を、学部、大学院、専攻科、別科、短期大学ごとに記入してください。

## VIII 学生生活

### 1 奨学金給付・貸与状況

学部・大学院共通

(表44)

奨学金の名称	学内・学外の別	給付・貸与の別	支給対象 学生数(A)	在籍学生 総数(B)	在籍学生数に 対する比率 A/B*100	支給総額(C)	1件当たり 支給額 C/A
京都橋大学貸与奨学金	学内	貸与	2	2,558	0.1	617,000	308,500
京都橋大学経済援助給付奨学金	学内	給付	19	2,558	0.7	8,610,000	453,157.9

在籍学生総数内訳（学部学生2,487名、大学院学生71名）

学部対象

奨学金の名称	学内・学外の別	給付・貸与の別	支給対象 学生数(A)	在籍学生 総数(B)	在籍学生数に 対する比率 A/B*100	支給総額(C)	1件当たり 支給額 C/A
日本学生支援機構第一種	学外	貸与	211	2,487	8.5	136,960,000	649,099.5
日本学生支援機構第一種（緊急）	学外	貸与	9	2,487	0.4	5,420,000	602,222.2
日本学生支援機構第一種（予約）	学外	貸与	92	2,487	3.7	63,850,000	694,021.7
日本学生支援機構第二種	学外	貸与	392	2,487	15.8	293,410,000	748,494.9
日本学生支援機構第二種（応急）	学外	貸与	7	2,487	0.3	5,330,000	761,428.6
日本学生支援機構第二種（予約）	学外	貸与	335	2,487	13.5	278,630,000	831,731.3
日本学生支援機構第二種（短期留学）	学外	貸与	8	2,487	0.3	4,020,000	502,500
日本学生支援機構第二種（入学時特別増額）	学外	貸与	50	2,487	2.0	1,500,000	30,000
日本学生支援機構第二種（留学時特別増額）	学外	貸与	3	2,487	0.1	900,000	300,000
都道府県奨学金	学外	貸与	7	2,487	0.3	2,460,000	351,428.6
民間団体奨学金	学外	貸与	8	2,487	0.3	4,404,000	550,500
強化サークル活動奨励奨学金	学内	給付	7	2,487	0.3	6,032,000	861,714.3
医療法人等貸与奨学金（*）	学外	貸与	25	285	8.8	14,545,000	581,800
看護学部特別奨学金	学内	給付	3	285	1.1	3,300,000	1,100,000

医療法人等貸与奨学金・看護学部特別奨学金は、支給対象となる看護学部の学生数を在籍学生総数とした。

\* 医療法人等から学生に直接貸与される奨学金であり、各病院の選考により奨学生として採用される。なお、契約などで法律上の問題が起きないように大学としてガイドラインを医療法人側に提示している。

大学院対象

奨学金の名称	学内・学外の別	給付・貸与の別	支給対象 学生数(A)	在籍学生 総数(B)	在籍学生数に 対する比率 A/B*100	支給総額 (C)	1件当たり 支給額 C/A
日本学生支援機構第一種	学外	貸与	18	71	25.4	20,840,000	1,157,777.8
日本学生支援機構第二種	学外	貸与	4	71	5.6	4,270,000	1,067,500
日本学生支援機構第二種 (応急)	学外	貸与	1	71	1.4	450,000	450,000
京都橘大学大学院給付奨学金	学内	給付	2	71	2.8	300,000	150,000

上記の奨学金は、支給対象となる学生数を在籍学生総数とした。そのため、留学生数は含まれていない。

留学生・大学院生対象

奨学金の名称	学内・学外の別	給付・貸与の別	支給対象 学生数(A)	在籍学生 総数(B)	在籍学生数に 対する比率 A/B*100	支給総額 (C)	1件当たり 支給額 C/A
京都橘大学私費外国人留学生授業料減免	学外	給付	3	3	100.0	360,000	120,000
私費外国人留学生学習奨励費給付制度	学外	給付	1	3	33.3	840,000	840,000
京都橘大学留学生経済援助給付奨学金	学内	給付	2	3	66.7	720,000	360,000

在籍学生数は2007年5月1日現在のものとする。

- [注] 1 2007年度実績をもとに作表してください。  
 2 学部・大学院共通、学部対象、大学院対象の順に作成してください。  
 3 当該奨学金が学部学生のみを対象とする場合は、「在籍学生総数」欄には学部学生の在籍学生総数を、大学院学生のみを対象とする場合は、大学院の在籍学生総数を記載してください。  
 4 日本学生支援機構による奨学金も記載してください。

2 学生相談室利用状況

(表45)

施設の名称	専任 スタッフ数	非常勤 スタッフ数	週当たり 開室日数	年間 開室日数	開室時間	年間相談件数			備 考
						2005年度	2006年度	2007年度	
学生相談室	0	3	5	200	9:10～16:10	698	832	880	カウンセラー3名

[注] 1 専任、非常勤ごとに、スタッフの種類（医師、資格を持ったカウンセラー、教員、職員等）を備考欄または欄外に記載してください。

2 年間相談件数は、延べ数を記載してください。

## IX 財 務

## 1-1 消費収支計算書関係比率（法人全体のもの） ※私立大学のみ

(表46)

	比 率	算 式 (*100)	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	備 考
1	人 件 費 比 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	48.6 %	48.2 %	52.2 %	50.0 %	47.8 %	
2	人 件 費 依 存 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}$	58.3	58.4	64.4	62.9	58.0	
3	教 育 研 究 経 費 比 率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	26.0	29.5	29.8	29.1	28.0	
4	管 理 経 費 比 率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	8.9	11.7	9.8	10.3	10.1	
5	借 入 金 等 利 息 比 率	$\frac{\text{借 入 金 等 利 息}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.8	0.7	0.5	0.3	0.2	
6	帰 属 収 支 差 額 比 率	$\frac{\text{帰 属 収 入} - \text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	15.6	8.1	7.7	10.2	13.5	
7	消 費 支 出 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	84.4	91.9	92.3	89.8	86.5	
8	消 費 収 支 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{消 費 収 入}}$	99.3	271.2	98.2	120.5	114.0	
9	学 生 生 徒 等 納 付 金 比 率	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	83.4	82.5	81.1	79.4	82.4	
10	寄 付 金 比 率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	1.0	1.0	0.7	0.7	0.7	
11	補 助 金 比 率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	11.4	11.6	12.1	12.8	11.3	
12	基 本 金 組 入 率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{帰 属 収 入}}$	15.0	66.1	6.1	25.5	24.1	
13	減 価 償 却 費 比 率	$\frac{\text{減 価 償 却 費}}{\text{消 費 支 出}}$	6.8	5.4	8.7	8.1	8.7	

[注] 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の消費収支計算書（法人全体のもの）を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。  
 なお、法人として当該大学のみを運営している場合は、本表のみを作表してください。ただし、医・歯学部等で附属病院を併設している場合は、次表（表46-2）も作成してください。

1-2 消費収支計算書関係比率（大学単独のもの） ※私立大学のみ

(表46-2)

	比 率	算 式 (*100)	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	備 考
1	人 件 費 比 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	43.2 %	45.2 %	49.3 %	46.4 %	43.8 %	
2	人 件 費 依 存 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}$	49.6	51.9	59.0	56.4	51.5	
3	教 育 研 究 経 費 比 率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	25.7	26.0	30.6	28.5	27.9	
4	管 理 経 費 比 率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	9.8	12.1	11.3	10.8	11.0	
5	借 入 金 等 利 息 比 率	$\frac{\text{借 入 金 等 利 息}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.8	0.7	0.4	0.2	0.1	
6	帰 属 収 支 差 額 比 率	$\frac{\text{帰 属 収 入} - \text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	20.2	14.4	8.3	14.1	16.8	
7	消 費 支 出 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	79.8	85.6	91.7	85.9	83.2	
8	消 費 収 支 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{消 費 収 入}}$	94.4	124.3	98.7	91.8	117.6	
9	学 生 生 徒 等 納 付 金 比 率	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	87.2	87.1	83.6	82.2	85.1	
10	寄 付 金 比 率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	1.0	1.1	0.8	0.8	0.7	
11	補 助 金 比 率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	7.6	7.9	8.6	9.9	8.0	
12	基 本 金 組 入 率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{帰 属 収 入}}$	15.4	31.1	7.1	6.4	29.3	
13	減 価 償 却 費 比 率	$\frac{\text{減 価 償 却 費}}{\text{消 費 支 出}}$	7.5	6.2	9.6	9.1	9.5	

[注] 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の消費収支計算書（大学単独のもの）を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。



## 2 貸借対照表関係比率 (私立大学のみ)

(表47)

	比 率	算 式 (*100)	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	備 考
1	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	60.6	73.2	71.4	72.8	75.4	
2	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	39.4	26.8	28.6	27.2	24.6	
3	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資金}}$	5.7	6.3	5.4	4.7	4.2	
4	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総資金}}$	5.6	5.9	6.4	7.9	6.6	
5	自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金}}$	88.7	87.8	88.1	87.4	89.3	
6	消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資金}}$	10.7	-1.8	-1.4	-4.8	-7.3	
7	固 定 比 率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$	68.3	83.4	81.0	83.3	84.5	
8	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}+\text{固定負債}}$	64.2	77.8	76.3	79.1	80.7	
9	流 動 比 率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	706.2	452.5	443.5	342.2	374.4	
10	総 負 債 比 率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	11.3	12.2	11.9	12.6	10.7	
11	負 債 比 率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	12.7	13.9	13.5	14.4	12.0	
12	前 受 金 保 有 率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	968.2	636.8	611.9	441.5	457.2	
13	退職給与引当預金率	$\frac{\text{退職給与引当特定預金(資産)}}{\text{退職給与引当金}}$	82.1	80.6	82.7	83.9	83.7	
14	基 本 金 比 率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	98.2	98.2	98.9	99.5	99.9	
15	減 価 償 却 比 率	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価格(図書を除く)}}$	49.7	39.0	40.7	39.9	40.9	

[注] 1 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の貸借対照表を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。

2 「総資金」は負債+基本金+消費収支差額を、「自己資金」は基本金+消費収支差額をあらわします。

X 情報公開・説明責任

1 財政公開状況（私立大学のみ）

(表48)

公開の対象者	公開している 財務諸表及び その解説	公開の方法							
		自己点検・ 評価報告書	学内広報誌・紙	大学機関誌・紙	財務状況に 関する報告書	学内LAN	ホームページ (Web等)	その他 (報告会等)	開示請求があ れば対応する
教職員	資金収支計算書		○	○		○	○	○	○
	消費収支計算書		○	○		○	○	○	○
	貸借対照表		○	○		○	○	○	○
	財務状況に関する解説		○	○		○	○	○	○
	その他（財産目録）					○	○		○
	その他（事業報告書）					○	○		○
	その他（監事監査報告書）					○	○		○
在学生	資金収支計算書		○	○		○	○		○
	消費収支計算書		○	○		○	○		○
	貸借対照表		○	○		○	○		○
	財務状況に関する解説		○	○		○	○		○
	その他（財産目録）					○	○		○
	その他（事業報告書）					○	○		○
	その他（監事監査報告書）					○	○		○
卒業生	資金収支計算書					○	○		○
	消費収支計算書					○	○		○
	貸借対照表					○	○		○
	財務状況に関する解説					○	○		○
	その他（財産目録）					○	○		○
	その他（事業報告書）					○	○		○
	その他（監事監査報告書）					○	○		○
保護者	資金収支計算書		○	○		○	○		○
	消費収支計算書		○	○		○	○		○
	貸借対照表		○	○		○	○		○
	財務状況に関する解説		○	○		○	○		○
	その他（財産目録）					○	○		○
	その他（事業報告書）					○	○		○
	その他（監事監査報告書）					○	○		○
社会・一般 (不特定多数)	資金収支計算書					○	○		○
	消費収支計算書					○	○		○
	貸借対照表					○	○		○
	財務状況に関する解説					○	○		○
	その他（財産目録）					○	○		○
	その他（事業報告書）					○	○		○
	その他（監事監査報告書）					○	○		○
その他 ( )	資金収支計算書								
	消費収支計算書								
	貸借対照表								
	財務状況に関する解説								
	その他（ )								
	その他（ )								
	その他（ )								

- [注] 1 2007年度決算について2008年度中に公開した対象・方法をすべて記入してください。
- 2 「公開している財務諸表及びその解説」欄のうち、「財務状況に関する解説」については、事業内容と関連させた財務状況の解説が付されているかについて、該当する「公開方法」欄へ○を付してください。
- 3 各対象者への財政公開を行っていないが開示請求があれば対応するという場合には、「開示請求があれば対応する」欄に○を付してください。
- 4 「公開の対象者」および「公開の方法」欄の「その他」には、カッコ内に具体的な名称を記入してください。また、「公開している財務諸表及びその解説」欄の「その他」には、監事監査報告書、財産目録、事業報告書等の具体名を記入してください。
- 5 2008年度決算の公開にあたり変更が予定されている場合には、欄外に注記してください。なお、その場合、公開した時点で該当する資料を提出してください。

## 2 財政公開状況（公立大学法人のみ）（表48-2）

該当なし